

<p>・すぐに成果が出ない事業(生活習慣改善)への理解一半年での評価の視点もあると思うが、1年で行動変容・改善できない面もある ・人づくり事業の難しさ一住民の意欲をわかせる、さらには主体的に行動してもらうためのしかけづくりをしていること</p>
<p>・スタッフ間の関係調整をはかり、スムーズに事業を実施していること ・住民の声を大切にして対応や事業運営を工夫していること</p>
<p>・それぞれの過程</p>
<p>・それぞれの分野において専門職(例えば子育てだと保育士、幼稚園の先生、心理職など、老人だとケアマネージャーなど)は、いるが保健所(公的機関)の保健師は全体的な動きを見た上で事業展開をすることが可能であること。・家庭訪問をすることができ、面接技術がすぐれていること。</p>
<p>・それぞれ進達先の違う窓口事務(母子・精神・特定疾患・障害)と来所や電話相談への対応を行っているが接遇から幅広い住民サービスの知識が必要となる。またケース対応における、所内、各機関との連携を円滑に行うこと</p>
<p>・たくさんを運やかにこなす力はないが、丁寧にすることを心がけている姿勢</p>
<p>・たてわりの行政の業務を住民サイドでつないでいくこと</p>
<p>・チームの一員として自分の果たすべき役割がはたせている事。・企画・実施・評価が期日に合わせて実施できている事 ・住民の声を受けとめ事業に取り入れられるように心がけている事など。</p>
<p>・チームワークの中で自分の役割りを責任を持って努力すること ・グループ治療の現場の中で、担当メンバーへの個別対応も大切に考えて仕事していること</p>
<p>・チームワークを大事にして、スタッフが十分能力を発揮できるような体制づくりに努めていること ・住民組織との調整や連携に心をくわべて活動していること ・相手の立場にたった視点での活動</p>
<p>・ていねいな対応をしていること。</p>
<p>・できるだけ住民の声を大切にして、政策に生かそうとすること</p>
<p>・できるだけ住民の立場に立って、接していること。住民の声に耳を傾けるよう努力していること。</p>
<p>・できるだけ早めに資料etcを作ろうとしていること。</p>
<p>・できる限り効率よく時間内に業務を終えるよう努めていること ・計画的に業務をすすめる、緊急に対応が必要なケースへの援助も日常業務のとどこおりがなくすすめるよう努めていること</p>
<p>・できる限り住民の要望に応じられるように努め早く他機関と連絡をとったりしていること ・必要性があれば他機関ともっと連絡をとっていきたいと思っていること</p>
<p>・とても多い仕事量をこなしていること</p>
<p>・どのような業務担当をもっていても、基本は住民を親ながら、判断し支援していくという保健師の業務は、地区というフィールドをもって、家庭訪問していくことが基本だと思っているので、できる限り地区に出ようとしていること。</p>
<p>・どの仕事を円滑に進められるよう下準備(事前準備)を必ず行っているところ。・職場でも住民でも、相手の訴えや話を最後まで聞くよう努めているところ</p>
<p>・とりあえず、やりとげる気持ちでいること。</p>
<p>・どんなに、小さなこと、つまらないこと、事務であっても、常に保健師の視点において業務をすすめていること。・他機関との連携においては、どんなに自分が多忙でも、すぐに対応することをモットーとしていること</p>
<p>・仲間、特にチームワークを大切にしていること</p>
<p>・なかなかすぐには効果があらわれない分野ではあるが予防は、今後、医療費減少等の為には不可欠であること。</p>
<p>・なるべく人との関わりを持たないような世の中の流れの中、それにさらかって、知識を生かして住民と関わろうと日々努力しているが、やりにくさもある。その部分をもっと、わかってほしい。</p>
<p>・なるべく多くの研修会(自主)に参加し新しい情報を業務に活かしていこうとすること</p>
<p>・なるべく地域に出て、住民の声をくみとるようにしていること。</p>
<p>・なるべく地域に出向き、住民と接し、住民の意見をきいていること ・例えば乳児健診時、子どものことだけでなく、家族背景を知るため、少しでも時間をかけて情報収集していること</p>
<p>・ハード事業とはちがって目には見えにくい、住民の声を政策に！！とがんばっていること</p>
<p>・ひとつひとつの業務に精一杯とらんでいること。・できる限り地域に出て住民の声を聞き、仕事に生かしていること。</p>
<p>・ひとつひとつの事例を大切に、学ぼうとする姿勢</p>
<p>・ひとりひとりのケースときちんと対応していくこと ・虐待等について常に危機感を持って対応していること</p>
<p>・プライマリーケアの観点から ケースによってアプローチの仕方を工夫し、個々に応じた支援をしていること ・地区診断を行い、関係機関と連携して地区活動を行っていること</p>
<p>・ヘルスプロモーションの観点から、個々の健康、そこから広がる家族地域の健康まで見通しをもち関わろうとすること。・子育て支援において多くの職種の人たちと人間関係をつくり広いネットワークを作ろうと思っていること。・専門職としてのスキル、新しい視点を磨くため勉強していること</p>
<p>・ヘルスプロモーションの視点から、個々の健康、そこから広がる家族地域の健康まで見通しをもち関わろうとすること。・子育て支援において多くの職種の人たちと人間関係をつくり広いネットワークを作ろうと思っていること。・専門職としてのスキル、新しい視点を磨くため勉強していること</p>
<p>・ヘルスプロモーションの視点での事業運営</p>
<p>・ヘルスプロモーションの視点と公衆衛生の視点で、その仕事でどれだけ効果があげられるか常に考えて行動している点 ・単に事業ありきではない仕事を心がけている ・住民と共に考え行動することで地域づくり、人材育成に力を入れている ・ボランティア等住民パワーを生かしている</p>
<p>・ヘルスプロモーションの視点をもって、ひとつひとつの事業をていねいに企画・運営している ・他機関と住民との間のコーディネート、マネジメントができること</p>
<p>・ボトムアップの仕事が年々できにくくなっており、トップダウンの業務で手いっぱいである。スタッフで地域性を考え、企画、立案できる機会をもっと増やしてほしい</p>
<p>・マイペースでやっているところ</p>
<p>・まじめに取り組む姿勢をもつようにしていること。・住民の意見に配慮するよう心がけていること。</p>
<p>・まじめに問題解決にとり組む姿勢</p>
<p>・まだ十分ではないが健診結果の統計的見方をすることで地域の把握をしようとしているところ ・チームで仕事しているため人間関係の調整をしているところ</p>
<p>・メンバーの意見を尊重し、協力し合って業務にとりくんでいるところ。</p>
<p>・モデル地区健康づくりの設定により長年の地域活動を通した住民の健康データをもとに保健活動にとりくんでいること。・1人1人の顔が見える活動を目ざしていること。</p>
<p>・やらなければいけない仕事を一人でもしっかりおこなっていること。</p>
<p>・ゆくりですが地道に仕事をしているところ</p>
<p>・より住民に身近なところで働いているため、住民のニーズ把握に心掛け、それに対応しようとしているところ</p>
<p>・ライフサイクルのほぼ全てに関わって仕事をしている ・小さいコミュニティだけにタテ割りではなく、自分達が自分の足で動いて情報を得たりフィードバックしたりできること</p>
<p>・ルーティン業務をこなすだけではなく、より効果的に行うための地区診断(統計処理分析)や住民が楽しく参加できる企画等の積極的な取り組みをしていること。・多忙中、訪問を重視し、一件でも多く訪問しようとする努力をしていること。より多くの波及効果を目指し、他の部署とも連携をしようとして調整していること。</p>
<p>・依頼のあったケースには、なるべくタイムリーに対応するよう心がけている</p>
<p>・意見・要望を取り入れているところ。</p>

・異動して1年目なので仕事を覚えるのに精一杯の状況ですが、年令的にも上なので皆が仕事しやすいように気ばりしたいと思っています、評価できる程ではないですが…
・医療、保健、予防、健康増進の分野の専門職との関りがつよいところ
・医療に関する情報提供ができること。
・医療系の知識をもとに、住民が自らの生活をより良いものにしてもらうための支援が出来ること(生活に直結している)・市民の健康生活についての情報を持っている(だからもっと意見を聞いて欲しい…)・対応する住民一人一人を大切に、その人の立場になって考えていること
・医療職や看護職の苦情処理等チームの人の実践の結果への解決対応を地域医療連携室がしている。つまり、黒子に徹していること。・患者様は弱者であり、入院中や外来でニーズを充分出し切れないが、地域、家庭の要素をとり入れた相談業務ができる。・患者サービスを経営的視点も入れ、患者側、病院側の立場に立って客観的に見られる中立的立場にある。総合的にとらえやすい立場にある。
・医療保健の専門職の中で、地域を見る公衆衛生の立場にある者として、そこから得た情報を基に業務(企画・運営も含む)していること。
・医療保健福祉の情報が入る場所(保健福祉係長)にあることより、それぞれの業務を連携づけて考え、事業の企画も出来る。
・一件一件の相談を大切に、関係機関に丁寧に伝えている。
・一人ひとりの住民との関わりを大切にしていること。
・一人一人に丁寧ににかかわり喜ばれ支援の目標をほぼ達成していること。
・一人一人のケースを大切に思うこと・新しい事にチャレンジすること(仕事の合理化・パソコン・色々な研修参加)
・一度に多数の住民に接する機会が時々あるが、できるだけ親切に明るく接するよう心がけていること。・同じ保健師だけでなく他の職種との職員とも協力することを大切にしていること
・一般の事務職員の中で仕事をする保健師として、専門性を評価して欲しい。ex)困難ケースへの対応、連携、解消へのプロセス
・一般行政職とは異なる専門性を生かした業務を行っていること・個別ケースにおいて専門的知識・技術をもち直し、自立、改善へ向けて支援していること。
・一般住民とのかかわりと事業の企画・運営
・一般職の人とはちがう視点で、町民の健康を窓口接客し、町民に親しみをもってもらえる努力をしていること。
・一方的に事業するのではなく住民の声をひろいながらまた、統計データを分析しながら企画し、事業の将来を考え運営していること。
・円滑な事業運営
・援助のための資源が乏しい困難なケースへ対応していること
・縁の下の力持ちとして、住民組織の底上げや、バックアップをし、活性化を図っているところ(キーパーソンやその組織の活動の見えない部分でのサポートの重要性と意義)
・穏やか、笑顔を心がけて住民と接していること。
・何の事業をする時も常に住民サービスや効率等を考えて事業の企画・運営をしていること
・可能な限り、先のことを見通して事業に取り組むこと・客観的データを活用していくこと・住民にとって活用しやすいスタッフとなること
・可能な限り多くの学会や研修会に参加し、自身の専門性の向上に努めていること・統計的手法を用いて、地域の全体的な把握に努めるとともに、個々の事例の積み重ねから事業を検討する視点をもって業務にあたっている点・evidenceを意識して業務にあたっている点
・家族、本人からの相談は、じっくり対応し、問題解決へと迅速に行動する・他の機関との連携がうまくとれている
・家族全体、地域全体を視野に入れて、必要な部分に関わり調整していること・国や専門家からの情報、地域の状況から、健康づくりのために必要と思う事業を計画し実施すること
・家族調整及び地域にあるサービス機関との連携
・家庭訪問(認定調査訪問含む)で、必要最低限の情報収集にとどまらず、1.気持ちの受けとめ等精神的フォロー 2.本人のみならず、家族等周囲をとりまく者へのフォローまで行っている。・定例事例検討会、ケースカンファレンス等により、情報の共有化や問題解決のみならず、専門職としてのスキルアップをはかるようにしている。
・家庭訪問、教室などで、住民の思いを大切にしていること
・家庭訪問し個々のケースに関わり、支援していること・住民の声を直接聞くこと
・家庭訪問でひとりひとりとじっくり関わっていること。
・家庭訪問で得た個別の情報を集団に生かしていること・介護予防事業で対象者の声を大切にしていること
・家庭訪問や地域の組織に出て感じるニーズを元に地区での事業を起し、住民の自主的な集まり、活動につながるよう支援すること
・家庭訪問をなるべく多く行き、住民の声を直接とり入れようと努力しているところ。なるべく自分の目で見られるようにしているところ
・家庭訪問を通じて援助が必要なケースに他職種と連携をとりながら密に関わっていること
・科学的根拠に基づいた事業の展開と併せて、住民のニーズもとり入れているところ
・課として初めて取り組む事業を軌道にのせていくこと。
・課の目標に添って事業が効果的に推進され、職員が達成感をもっていること・関係の連携体制が整い効率的な事業がおこなわれているか 以上の点で役割をはたしているかが評価の基準では?
・過去の統計資料、住民の声をもちに事業を企画、運営していること・他職種との連携を導くことに図っていること・住民からの相談、声をしっかり聞くようにしていること
・介護サービスの利用実態を把握し、サービスが適正に提供され利用されるよう調整を図っていること、またそれにより住民からの苦情を未然に防止できるように図っていること・地域のケアマネジャーが活動する上で連携をはかり、困難事例等について相談対応していること
・介護の現場から、住民や他の専門職との関わりから得た情報をもとに事業の企画運営をしていること・組織、団体や住民の声を大切にしていること・様々な課題に取り組む姿勢
・介護保険の公正な調査ができるように、申請者から多くの情報を得て、調査員に伝えている・利用者及びご家族の気持ちを大切に、無理なく、時間をかけてサービスの導入を図っている
・介護保険の申請や相談等について、保健師としてのアプローチと相談内容であること。
・介護保険の調査のみではなく調査時、介護保険に関する説明をしたり、相談に応じたりしていること。
・介護保険の認定調査が日常の業務の中心の中で、訪問指導になるべく時間をさき、本人、家族の負担の軽減に努めていること。
・介護保険の認定調査は、調査だけでなく、保健指導が必ず加わっているということ。一定の研修を受けた市町村の職員ならば専門職でなくても調査に従事できるが、調査内容は専門的知識を必要とする。調査し記録にまとめることは、一定の時間を要し、申請者数が増えれば調査に従事する職員数も増やさなければ対応できない。
・介護保険の認定調査を主な業務としていますが、単に調査のみで終わらず問題点改善へのアドバイスや、時には、健康相談を行なうこともあります。保健師でなくてもやれる仕事ではありますが、常に保健師という視点を持って業務を行なっています。評価してほしいというより、そういう気持ちを持ってのぞんでいるということを書かせていただきました。
・介護保険の認定調査内容の信頼性を確保できるよう、調査員へ指導していること・介護予防の訪問指導がより具体的に実施され、継続されるよう関連職種との連携を大切にしていること。
・介護保険の部署での保健師の役割。・保健、福祉、医療との連携をはかるためのコーディネーターとしての役割・ケアマネジャーがより仕事しやすい環境をつくるよう関係者としてつとめている(情報の提供 相談役 困難事例に対応 等)

・介護保険関係業務(ケアマネ、ケアマネ支援、他モロモロ事務)から高齢者福祉(相談、緊急、困難ケースへの関わり等)まで、高齢者に対してトータル的に関わるようにしていること
・介護保険申請からサービスを受けるまで、スムーズに行えるよう関わっている。・質の良い介護サービスを受けることができるよう住民の声を聞いたり事業所との連携に努めている
・介護保険制度が公平・公正・円滑に実施できるよう認定調査員の質の向上のため、相談・指導や研修を行っていること。・住民の声を業務に反映できるよう努力していること
・介護保険調査時、できるかぎり、ケース・家族の訴えに耳をかたむけていること
・介護予防、疾病予防など部署が違っても予防という観点で事業を実施しようと努力している。・医師会、地区組織など連携する機関を大切に、人間関係を良くするよう働きかける
・皆が意欲を持って働けるように、環境、条件の整備に心がけている
・外に出る事が多く目に見えない業務の為、評価を得にくいので業務内容の理解と住民とどのように関わり、どのように対処しているかをよくみてほしい
・外の研修、時間外の研修にも参加し、積極的に知識を得ようとしていること。・少ない職員の中で、HVや研修の企画等立てていること。・地域の声をきくために患者、家族からの意見だけでなく、関係者の意見もとり入れていること
・各機関と連携するにあたり、今まで自分達の係で考えていたことも必要に応じて、他に声をかけるようにしていること。・住民と接し、その声を大切にしていること
・各機関の関係者の意見を調整できるようにいろいろな意見をきき連携できるように努めていること。・住民の思いを十分にききとれるようにいつも受け入れられるような対応に心がけていること。またその声をニーズとしてとらえ改善できるよう心がけていること
・各係機関との連携、信頼関係の元、日常の業務を行っている点
・各係機関との連携、信頼関係の元、日常の業務を行っている点
・各事業課が計画を立案する際に現場を担当する保健師の意見が反映できるよう、意見を述べたり、調整を行っていること(調整労力は、なかなか評価できにくい、とても大変)
・各種保健活動より得られた情報をまとめ事業の企画、運営に生かしている
・各担当者が責任をもって業務を遂行していること
・核家族化、少子化が進行する中、専門職として、適切な情報提供するとともに、住民の子育て自主グループ化等、地域のネットワークづくりに尽力していること。・住民に利用しやすく、気持ち良く、接客サービスが行われること
・感染症や結核等、早急な対応をこころがけている。
・感染症を担当している。サーベイランスや、地域の実情から、住民にとって何が必要か判断し、事業の提案、企画をしていること
・看こ職としての知識とともに、自らの子育てや、地域の生活者としての経験や視点を生かして、事業の企画、運営をしていること。
・看護、医学的視点を生かした専門職であり、対象者の生活、考えを大切にしていること。
・看護、医療の知識を生かした専門職として、関係機関や住民との関わりから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。・各々の専門職がチームになって地域で活動ができるようネットワークを組んだり、同職種の方が集まり、資質向上が図れるようにしていること
・看護、医療の知識を生かした専門職として住民と関わっている。
・看護、医療の知識を生かした専門職として母子に関わり、グレーゾーンの児や発達に心配のある児、母子関係が気になる児など早期に発見し、必要と思われる専門機関につなげ、健全な成長、発達ができるよう支援していること。・仕事に対して評価し、アセスメントを行い、そこから計画立案していること。それに伴い、必要な統計処理、利用者や住民の声も大切にしていること。
・看護、医療の知識を生かした調査や審査会事務の運営
・看護、医療等専門性を生かした視点と福祉的な視点から対象者を把握し、必要なサービス、社会資源に結びつけていくこと。・相談業務を通じて、個別的に関わり、その人のニーズに合った援助を行うこと
・看護、介護の知識を生かし、住民(高齢者)の実態把握を行い、各関係機関と調整、マネジメントが行えていること。・高齢者の状況、地域の実状を基に、新規事業の企画をしていること。
・看護・医療の知識を活かし専門職として住民と関わり、得た情報に基づき事業の企画・運営に反映している。
・看護・医療の知識を持った上で個だけでなく地域をみて業務にあたること。・地域住民の視点を感じ、考えながら業務にあたること。・地域での事業をするまでの土台づくり組織づくりの視点をもって企画・運営をしていること。
・看護の専門職として住民の健康に関わる事業を行っていること。
・看護の専門職として対象者に関わり支援していること。・客観的な視点と、対象者の要望の2つの点を常に意識し、最善と考えられる支援の実施を目指すこと。
・看護の知識、心、体についての保健の知識を活かして住民と関わっているところ。・相談、保健情報を整理しなるべくニーズに応じた情報や支援を提供しようとしているところ。・他職種との仕事がスムーズに行くように、だれでもある程度のレベルが同じ仕事ができるように文書化したり仕事を整理しようとしていること
・看護の知識や技術を生かして希望する住民にサービス提供を行っていること。・住民利用者の意志を尊重して看護を行っていること
・看護の知識を生かした専門職として、介護保険に関わり、住民の声を吸い上げていること。
・看護や医療、公衆衛生の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。・個別事例の処遇や、保健事業企画・運営におけるマネージメント能力
・看護や医療の専門職として、相談等で住民と関わり、住民の声を参考に、(情報を)事業等の企画、運営を遂行していること。・地域の健康づくりのリーダーとして(？専門職)地区組織(保健推進員や食生活改善推進員等)を育成し、保健予防、健康づくり活動に力をそそいでいること。
・看護や医療の専門性を生かして、住民や様々な関係機関と関わり公衆衛生活動していること
・看護や医療の専門的な知識を生かして住民と関わり、他職種と連携しながら住民の声を事業の企画・立案から運営まで保健師2人という少人数ながら行っていること。
・看護や医療の専門的な知識を生かして住民と関わり、他職種と連携しながら住民の声を事業の企画・立案から運営まで保健師2人という少人数ながら行っていること。
・看護や医療の専門的知識をいかして、生活感をもって住民の立場から意見していること
・看護や医療の知識、住民の声により、活動をすすめるようとしていること
・看護や医療の知識や技術を生かした専門職として住民と関わり、一面的な見方をせず事業を運営していること。・単発や思いつきの事業ではなく、人間のライフサイクルの流れとして必要な事業の実施や関わりをしていること。
・看護や医療の知識をいかした専門職としての仕事と、統計的に地域を目標的に観て行う仕事、行政の職員としての仕事、福祉分野では事務職と同じ仕事など幅広く仕事をしているところ。
・看護や医療の知識をもとに予防的観点からの住民との関わりやそこから得たものを基として、事業の振りかえり、企画・運営をし、反映させていること。
・看護や医療の知識を生かし、支援体制を整えるのに、必要な機関と連携をとること。・住民の声、関係者の声、現状から、課題をみつけること、解決策をみつけること
・看護や医療の知識を生かし、利用者の治療や疾病の予防を図っていること
・看護や医療の知識を生かした住民との関わり
・看護や医療の知識を生かした専門職として、その人に応じて相談業務を行っていること。・かなりの範囲の業務を覚え、対応していること
・看護や医療の知識を生かした専門職として、住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。・地域を見る観点から、統計処理はもちろん、住民の声を大切にしていること。・施設の機能やスタッフの専門性を生かして事業の企画・運営をしていること
・看護や医療の知識を生かした専門職としての関わり
・看護や医療の知識を生かした専門職としての視点から事業の企画・運営をしていること。・区民の声や、社会の変化から情報を得て事業の企画や施策の提案をしていること

<p>・看護や医療の知識を生かした専門職としての住民とのかかわりや各関係機関との調整・連携(目に見えない部分の連携について)・福祉サービス事業の運営にあたり、制度全般からみて公平性・客観性をもちながら決定していること</p>
<p>・看護や医療の知識を生かした専門職として関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。・住民の声を大切にしていること。</p>
<p>・看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に、健診や事業の企画・運営をしていること・住民の声を大切にしている</p>
<p>・看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わっていること。そして住民の声を大切にしていること。</p>
<p>・看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画、運営をしていること</p>
<p>・看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。・関わった事例がよい方向へ転じた時</p>
<p>・看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。・住民の声を大切にしていること。</p>
<p>・看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。・人割り、国割りの原点に立つ仕事である。</p>
<p>・看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。・保健師の実績が保健分野以外の領域で活動、職域の拡大が求められていること。・処遇困難な事例の連携の中で保健師としての調整などの役割を果していること。</p>
<p>・看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、住民がよりよい選択が出来るように関わっていること。</p>
<p>・看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、生活習慣の改善や疾病予防等地域住民の健康を守っていること。</p>
<p>・看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わりそこから得た情報を基に活動し、住民の声を大切にしていること・地区(受持ち)の為に他職種と協力し、住民の為に活動できていること</p>
<p>・看護や医療の知識を生かした専門職として住民の相談にのり問題解決の支援をする・精神科救急の対応を行う</p>
<p>・看護や医療の知識を生かして住民の相談をうけ、問題解決にむけて努力していること・予防の視点にたつて、健康問題や住民生活の質の向上にむけて努力していること</p>
<p>・看護や医療の知識を生かし住民を身体的側面の視点から支援をし安心して地域の中で生活できるよう努めていること・地域の実態から問題点課題をとらえ対応しようとしていること</p>
<p>・看護や介護といった専門職としての視点と、家族・地域も含めた生活全般を捉えた視点、双方から住民の生活を支える活動をしていること。</p>
<p>・看護や保健の専門職として生活全般をみながら住民と共に考えられる可能性があること</p>
<p>・看護や予防の知識を生かした専門職として住民と関わり役に立つところ</p>
<p>・看護師、保健師としての経験を事業の企画・運営に生かそうと、慣れない事務の仕事にチャレンジしていること。</p>
<p>・看護師としての経験を十分生かせるような業務。・物事を企画していく業務。</p>
<p>・看護職でなくてもできる業務だが、看護職ゆえの支援の仕方や連携の経過等が数値に表われない</p>
<p>・看護職ではあるが、行政視座の視野をもち仕事をしていること・他機関と連携し課をこえて企画できる・住民の声を生にきけるので、行政ではあるが一番住民に近い職員である</p>
<p>・看護職としての視点で住民との相談に接していること・地域でのネットワークづくり</p>
<p>・看護職としての専門知識と住民の声、又、住民の疾病統計等から分析して仕事の優先順位を決め効率的に仕事をこなしているところ。・公務員である一方、住民の立場を考えた中で仕事を行っていること</p>
<p>・看護職として活動しているという点・住民と身近に接しているという点</p>
<p>・看護職の経験を生かしたとこ</p>
<p>・看護職の専門性を生かした住民の関わりのもと地域の健康づくりを企画運営していること・保健活動の効果は、5年後、10年後と長い時間を経て、はじめて出るという状況を深く理解し、現在の活動だけで評価しないこと。(現在の企画や視点は大切だと思う)</p>
<p>・看護等の知識を生かし、住民や、他関係機関と係り事業を推進すること・子育てしやすい事業展開されているという住民の声・地域住民から保健師活動が見えること</p>
<p>・看護等の知識を生かした仕事にとどまらず、予算や事業の企画・運営を実施していること・必要な職種と連携しながら業務を実施していること</p>
<p>・看護師経験を生かし、保健師として、地区住民と関わって事業に臨んでいること・住民の立場に立って、利用しやすい、事業の展開に心がけていること</p>
<p>・管理・企画・調査能力(係長として)・保健活動を実施していく上で、専門職として、力量発揮できる組織や業務形態になっていない(行政ニーズでの変更が最近多い)問題多い現状で地区活動以外は主体的な動きがとれにくい状況でも、地域支援の視点で住民ニーズは大切に活動に反映していること</p>
<p>・管理職として、職員が働きやすい職場環境を整えること。・ストレスや、職場の不満をすこしでも解消できるよう、1人1人の健康状態を整えること。</p>
<p>・管理能力</p>
<p>・関わりが住民サイドからスタートする事業も多いためマニュアル化されにくかつ件数等の数的データのみでは効果がはかられにくいと考える。質の評価も望みたいがまずはそういった職であるという理解なり明文化をしてほしいと感ずる。(全てをマニュアル化できない職であるということ)</p>
<p>・関わりを拒否する家族と調査をとり、家族に担ってもらうことを伝え、それを、行ってもらうように家族を説得していること。(できること、できないことをはっきりと伝え、理解してもらうまで、何度も連絡をとりつづけていること。)</p>
<p>・関わりを持った住民が安心して、生活できているところ。住民の声に耳を傾けること。</p>
<p>・関わる住民のニーズを大切にすること。・仕事量の多い事業をできるだけ滞りなくやりとげようとするところ。</p>
<p>・関係機関、住民の声をききながら、事業を検討しすすめていること</p>
<p>・関係機関とのネットワークづくり</p>
<p>・関係機関との協力で仕事していますが仕事の大変さを理解してくれています。・事業活動内容を評価して予算獲得してほしい。</p>
<p>・関係機関との連携や、住民との信頼関係づくりを大切にしていること</p>
<p>・関係機関との連携を大切にしていること</p>
<p>・関係機関と連携してのケースワーク・個から地域を見た事業の展開</p>
<p>・関係者の調整が非常に難しいが、前向きにとりくんでいること・業務多様の中で、時間外であっても、自主的にとりくんでいること</p>
<p>・企画・運営・実施の結果、どのように地域や対象者たちは変化していったか</p>
<p>・企画、運営、集計、評価等を事業の中で行い、次につなげていること。・地域の中の健康問題をとらえられる目</p>
<p>・企画、運営を通して行政はどうしても数的評価になります。本当に事業を必要としている対象者が少なくとも必要である事業は継続される様な議会の答弁をしてほしいと思います。・また国・府からの事業も、新規事業はほとんど保健師(保健センターの中で1番数が多いため?)に全て(事務作業も含めて)任せられます。本来の仕事が出来ていません。</p>
<p>・企画、実施、経過等(参加人数の評価だけでなく)について、内容について評価してほしい・実施の根拠等についてみてほしい</p>
<p>・企画、予算、文書管理等の事務と保健師としての専門的な仕事を全て行っていること。・業務分担と地区分担の仕事があり、様々な業務を行っていること。・住民の声を大切にしていること。</p>
<p>・企画調整係なので、周囲からは何をしているか見えにくい部署だと思う。仕事内容を評価するならば、多くの関係者との調整(日頃の間関係が大切)をしている事と、保健師の仕事を他の事務職の人に常にPRしている事。・仕事内容がファジーなので、「企画保健師のあり方」調査研究結果を期待しています</p>

・企画力、折衝力
・基本健診の結果や健康増進法を基に行なった事業で対象者の教室参加後の変化(医療費の変化、行動変容なども含め)が表われた事。
・基本的には、まじめに仕事にとり組んでいるところ
・既存の事業の見直しを図り、改善をしている点(新規事業をはじめのばかりではなく、事業を再評価していく姿勢をもっていききたいと思います)
・既存の事業を見直し、常に改善していきたいという気持ちでとりにくんでいる。
・期限までに仕事をおえる・まちがえなく仕事をする。
・記録には残せない住民との関わり
・虐待ハイリスクケース等、かなりのエネルギーを使いながら他機関との連携を取りながら改善に取り組んでいること・マンパワーが不足している中で精一杯働いていること・対住民の声を大切にしながらも、ハイリスクケースを発見する目を持っていること
・休日、夜間を問わず、住民からの要望には、できる限り対応していること。
・居宅、在宅介護保険事務(全般)業務で、さらに、保健福祉と連携をもち、医療、保健予防を含めて、相談業務に従事している
・教室、個別相談でも、常に住民の声を大切に、センター業務を行っている事。
・教室生のひとりひとりととの関わり・ひとつずつ丁寧に仕事にとりくむ姿勢
・業務(ケース)の数・量でなく、質で評価してほしいと思う・困難ケースはたった1人へのアプローチでも時間と手間がかかり、専門的知識、そして忍耐と精神的負担が必要であることを認識して欲しい。
・業務がスムーズいき、住民から感謝の言葉が得られた時・企画、立案した事業が効果があった時・地域住民の健康レベルがあがった時
・業務が重なり多忙になる中でも、今すぐにサービスを利用したいという方に対し、できるだけ早く対応するようにしていること。・国で示されている運営基準に沿って忠実に業務を実施しているため、業務量に限界があること。
・業務に取り組む姿勢・自分の実力の範囲外の業務量
・業務に要した時間、又は、数値だけの実績では評価できない業務の内容の比重が多いこと
・業務の中で不明な点は明らかにして、とりにくんでいるところ
・業務の統括するという立場にあり指導統率・仕事の管理等も含めての評価
・業務の内容が多様化してきている中で、その内容、質についてみて欲しい
・業務の必要性や効率を考えながら、仕事を行っていること・仕事がしやすいように、同僚や他職種と協力、協調しようと努めていること
・業務の幅広さと量の多さ、専門性を追求すると色々な意味で更に業務量が増す・地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。
・業務の理由、目的、評価を明確にしようとする所・業務の流れを明確にしようとする所・地域全体の健康レベルを上げようと考えていること・個々の生活背景、ニーズ、デマンド環境を捉え支援しようとする事
・業務をマニュアル化したり整理をすすめているところ・住民の声を大事にし、住民と良好な関係をもっているところ
・業務を自分なりに努力し、円滑にすすむようにしていること。
・業務を推進するための地区組織との連携、地区住民との連絡調整
・業務を遂行し、改善していくのは当然のことですが、係員がそれぞれ責任をもち、いきいきと働けるよう配慮していること
・業務時間内に業務遂行できる能力・同じ部署で働く保健師どうしのチーム能力
・業務上で関係機関との連携をもち仕事ができるよう働きかけを行い、仕事しやすいようにすること・多くの分野の方々や知り合いネットワークなどの組織づくりや広範囲なかかわりをもてるようすること
・業務全体をみて合理的にすすめ効率的に行っていること。・その人にとってのニーズを判断していること。(個別性に合わせて)
・業務担当制ではあるが、他の人の業務も、関市の事業としてより良い方向を考えていくようにしている・個性を重視するよう努めている(保健指導の時)・個を大切にシマスに反影させる(そうできればよいと思っている)
・業務内容の緊急度の判断ができていないこと。
・業務内容の質の評価・新しい事業企画、実施、評価への評価をして欲しい
・業務内容を理解し評価してほしい・新規事業の企画実施を
・業務別担当で1人配置なので専門職としての評価イコール個人評価ということは大変問題・物理的な制約があり、保健師として必要と判断される業務がしにくい・難病患者の実態に即した相談等のできる体制に反映させていきたい
・業務量・関係職種との連携
・勤務年数が長いこともあり、住民の家庭の状況も把握でき、問題ケースが生じた場合でも、家族への関わりもとりやすく、調整が行いやすい。・住民との人間関係を大切に、住民の声を行政に生かした事業の企画をしていること
・緊張感の高い職場で、忍耐強く、頑張っているところ。
・区民の相談に対し、きちんと受けとめ、一緒に考えていく姿勢を大切にしている。・住民サービスのシステムづくりや整備をしていること
・苦情、相談等あっても対応できないこともあり、すぐ解決できないこともあり精神的負担が大きい。担当者がひとりしかいないので、他の協力が得られないと、苦勞が大きいこと
・具体的、客観的になりにくい、住民の声をできる範囲で具体化し、数値化し事務職(上司、他の職員)や、住民に伝え、地域の保健福祉に生かしていること・医師等との関係において、上司には伝わらない点で調整し、事業をスムーズに行うようにしている点
・係の中で事業運営に関すること(ex:核診業務や予防接種等)をメインに、円滑に行われるように様々な担当レベルで対応しているが、負担が大きい、その部分をカバーする為に本来個人としての家庭訪問や、相談業務ができていない部分を理解し評価してほしい
・係内の職員のストレス等を理解し、結果として困難事例への協力や意欲を援助する。困難事例についても、前向きに対応している。
・経験が少ないためスキルアップと知識を身につける目的で研修に参加している。
・経験や知識の未熟な面はあるが、こだわりなく色々な視点から考え見ようとしているところ
・継続して行っている事業を、変化していく状況に応じて内容を再検討し充実させられるよう試みていること。・地域や個別のいち家族を見る観点から住民の声を大切にしていること。
・計画を立てる時、少しは、本をよみ考えている所
・計画策定、予算、決算、補助金申請等、それぞれの事業を一貫して管理している。・看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、住民一人一人の声を大切にしている。・保健、福祉、医療と幅広い分野で活動している。
・計画的に事業の企画・運営をしている・利用者の立場に立つて必要な事業等について考えている
・決められたことはまじめに遂行するところ・どんな仕事でもまじめに誠実に人の見えない所でも、変わらずにやる所

・決められた制度の枠内で該当しない場合でも他に利用できるサービス等はないかできる限り検討し、事務的な申請受理業務にならないようにしていること
・決裁にはまわらない仕事内容・専門職として考えた上で行動、指導していること
・決断と行動力
・結果が見えやすく仕事の効果が伝わりにくい部分が多い業務だけで見えないところでの精神的苦痛を日々味わっているところを何とかでもいいので分かってほしい。
・結果が数値的に表しにくい分野であるので、見やすいところだけを見て評価しないでほしいという要望があります
・結果だけでなく、プロセスを評価して欲しい・目で見て分かる、数値的なものだけで評価されたくない
・結果だけでなく事業の全体をみて評価してほしい
・結果のみを評価するのではなく、その経過についてもみてもらいたい
・結果を客観的にみて評価してほしいと思う
・結核管理より地域の問題点特徴的な点を浮上させ、結核予防に結びつけようとしているところ。・市民の精神保健の維持、向上を支援していること。
・月報集計からの分析をすするとともに、地区担当及び管内全体での評価をしてほしい。・経験年数にそった評価をしてほしい
・健康、疾患の有無に関係なく、地域全体の人の健康づくりに貢献していること。
・健康づくりが住民といっしょにできてきた事(事業によっては自主活動へと発展してきている)・長い期間様々な事業を行ってきて住民に変化が出てきていること
・健康づくりで量や値に表しきれない成果
・健康づくりのための取り組みを住民の方々に継続してもらうためにはどのような形で支援していけばよいか日々苦勞しながら事業を行っていること。又、すぐにはその効果というものが表面化するわけではなく、長期的にどう変化してきたかが、大切になる。そういう仕事をしているということを理解して欲しい
・健康づくりは、すぐ成果が目に見えない部署であるが人が生き生きすること、人と人のつながりの中ですばらしい力が育っていることを評価してほしい・保健師は住民に1番近い所で弱い立場の人の声も多く聞いている。そうした人達が暮らしやすくなる基盤づくりに力を注いでいることを評価してほしい。
・健康づくり事業は、短期間かつ数値での結果は、難しい、結果の評価よりもその過程の評価をしてほしい・保健師としての専門業務と行政職としての業務のバランスをとりながら活動している部分・住民の声を大切にしていること
・健康づくり推進協議会等の住民参画からの事業化(住民の声からの事業化) 個の住民の声だけでなく、集団としての住民の声を大切にしていること。
・健康に関する講話でも個別の訪問でも住民の笑顔をひきだすべく日々努力していること・情報 知識 考え方が古くならないようにしていること
・健康に関する視点をもって、相談業務にあたっていること。
・健康を守る大切な仕事をしていること
・健康意識調査を実施した結果をもとに、保健事業を計画し、実施していること
・健康教育事業を担当しているが新聞記事やインターネットなどで最新情報を入手したり、住民に対してわかりやすい文章や案内をする事を工夫していること。・事業評価をきちんと行っている事。またそこに改善を加えて、新たに事業を展開していること。
・健康教室、訪問指導、健康相談業務において、住民のニーズから保健事業の土台にしていること・専門職としての知識の情報提供、そして、住民とともに"まちづくり"元気なまちになるよう事業を企画していきたい
・健康教室などの事業で、数だけで評価するのではなく参加者の満足度、行動変容できたことも見てほしい。
・健康教室参加者と委託業者…等スムーズな連携を心がけ、事業を始めとする仕事…を限られた日数の中、一生懸命取り組んでいる事
・健康指標や医療費の改善のみだけでなく、個人や集団の質(QOL)の向上を図っていること。・住民の声からニーズを発見し、施策につなげていること
・健康相談や教育などで住民の健康状態が改善したなど直接住民とかかわっている姿
・健康増進、介護予防の視点で仕事をしており、それが医療費削減につながっていること。・住民と共に地域づくり事業をすすめていること。
・健康増進事業を他機関、他部署に普及している・相談者への適切なアドバイスができる
・健康問題に限らず、生活していくうえで困っていること、嬉しかったことなど、住民の方の声をダイレクトに聞けること
・健康問題に限らず、生活していくうえで困っていること、嬉しかったことなど、住民の方の声をダイレクトに聞けること。
・健康問題は、すぐに解決されるものではないこと。数字の評価ばかりに目せずその経過等、関わり方について、にも目をむけてほしいこと。
・健診、家庭訪問など日々の業務の中での住民との関わりの中で必要性を感じることについて健康教育(集団教育)に生かすようにしていること。・病院では見られない本人の生活というところに重点を置いて、納得してもらいながら支援していること。見えないところ。家族との生活の重視
・健診データを使いそこから得た情報を事業の企画・運営に活かすこと・情報を分析して計画企画ができること
・健診データ等から生活習慣予防について、本人の生活に合った相談をすること。
・健診という機会をとらえて、自身の健康を見つめ、生活改善を行っていくための企画、実施・財団法人として、多職種が共調して働けるための連携や企画
・健診などの事後処理しよ務などしながら保健師行務をしていること・対象者の意志を尊重しながら、接していること
・健診や訪問等で住民と関わる中で健康づくりの課題を見つけた事業につなげていること
・健診や老人会など住民と関わる事業を通して、関わりの中で自分自身のためにも情報を得、丁寧に関わろうとしていること。・健診後、事後整理などミスがないように思い行っていること。
・健診業務で他職種との協力が無ければスムーズに流れないことが理解してもらえないこと。
・健診結果、受診状況などから整理して、予防的視点で住民と関わりを持っていること
・健診結果などデータの判断だけでなく'その人間を観る'ことを大切にしていること。
・健診等では母の訴えをよく聞き不安の解消に努め母が安心して育児できるよう、関係機関の連絡等、密にしている。・自主グループに参加し、支援者の声に耳を傾けるようにしている
・研修で得た知識、情報を事業に生かそうとしている点・ちらしの工夫でPR度をあげようとしている点
・研修に多く参加し、新しい知識を得つづける姿勢・住民の立場にたって考えて事業展開しているところ
・研修会等に自主的に参加することによって得られた情報を、事業の企画、運営に生かそうと工夫している点。
・顕在ニーズの把握、援助だけでなく、潜在ニーズの発掘も大切にして日々活動していること。・見誰にでも出来る様なことをしているように見えても、看護の視点を常に専門職として活動していること。
・現在、介護保険の担当(ケアマネジャー)をしているので、ほとんどが、訪問活動だが、個別の支援から、地域の課題は何かをさぐり、保健師としての視点で、業務にたずさわっている。・個々に深くかわり、課題解決に向けて、他職種と連携をとりながら活動している(地味で、周囲には見えづらいが)
・現在、介護保険部門で介護認定の仕事、ケアマネ、サービス事業所からの相談にのっている・保健師の立場で、医師とケアマネとの連携について少しでもスムーズにいくようにまた、調整できるように気をつけているが、組織の中での私の立場上どう動いていか悩んでいる。・事務処世がかなり大量にあるが、住民の生の声をまた、介護の実態を把握するためできるだけ地域に入るように心がけている

・現在、事務職と一緒に同じ仕事をしており、専門職ならではの出来ないこと等を評価してほしい
・現在の業務に専門職がかかわっている利点を他部署にいる専門職に感じてもらえるよう情報を伝えるよう努力していること
・現在の事業をどういう位置づけ目標でしているのか ・参加者数等数の実績ではなく事業の中身、必要性を見て評価してほしい
・現在は介護保険をとおして住民と関わっているが、単なる事務作業のみでなく保健師という専門職として住民の生活全般を見ようとしていること ・住民の生活を支えるには介護保険のみでなく他機関との連携が必須であると考えて常に動いていること
・現在は事務的な仕事で主であり、住民の声を聞いた関わりができていない状況にあるので、自分の中でも十分な仕事ができおらず評価してほしいという希望はない。
・現在自分は、高齢福祉部署であるが、専門技術をベースに、ケースワーク、保健指導を実施している。・住民が、どの他職種よりも保健師という仕事を認識してくれており他の職種が門前払いをくうような困難事例であっても家の中に入れてくれる場合が多いこと。・個々、スキルアップのために自主的に研修参加したり、就職後も、ケアマネ、精神保健福祉士等の資格取得に努めていること。
・現在精神保健福祉相談を担当しているが、当事者への関わりとして、他課、他機関でもかかわりのある場合、本人の了解のもと、連絡、連携、会議等を持ち、対応にずれが生じないようにしている。
・現場での活動を大切にしていること 住民の声を大切にしていること
・現場での経験を元に、所管事業の内容や目的(保健の役割)、実績について、他職種(特に事務職の上司)に理解してもらえよう自分なりに考えながら仕事をしている点。
・現場で住民のニーズを把握し、施策化に生かせるよう日々意識していること
・現場で住民の生の声を大切にしていること
・現場で働いている。住民と共に健康について考え、悩みを共有し合っていること、その中で、関係機関との連携を取り合い活動している看護や医療のプロであること。・子供から高齢者の人々とのかかわりを地域の中で、一番身近でしている。看護や医療のプロである。
・現代の健康問題にも目を向けながら、保健師として保健活動の目的の明確化を計り、住民の声や反応を大切にして、積極的に住民の健康づくりを支援していける活動を企画していくところ。
・限られた人数・職種で非常に多くの業務をこなしていること(ひとりの担当業務が容量をこえているが、頑張っていること)
・個からの声を事業に反映しようとしているところ。
・個と集団の両面の関わりをこなしているところ ・制度のはざまにある人のフォローを担っているところ
・個と地域をつなぎあわせ、住民の声を大切にしながら、事業の企画・運営等、施策に活かしていること。
・個にかかわっていくことで、施策へつなげていこう配慮していること ・個には大事にかかわっていること、信頼関係を大事にしていること ・事務的でなく、現実をみすえた計画をしていること
・個の支援を大切にしているところ
・個の情報を集め地域の問題としてとらえ、必要時事業展開しているところ
・個の満足度を大切にしているところ
・個へのサービスの積み重ねを大切に業務を行っていること ・事業実施のプロセスを大切に考え、評価しながら次へのビジョンをもっていきたくと考えながら行っていること
・個への関わりから、広く地域としての課題をとらえようと、住民に還元できるよう努めていること…
・個を大切に、信頼関係を築くアプローチを住民に対し行っている事 ・与えられた仕事にプラスアルファを心掛け、評価が出るよう努力している仕事量やプロセス
・個を大切に対応していること
・個を通して全体の問題を予測する点 ・専門職として住民と関わり地域ニーズを事業にかかす ・常に住民側に立って考えている点
・個々に対しての支援(問題や悩んでいることに対するアドバイス) ・地区組織への働きかけ
・個々に対応が異なる事例に対して、本人への支援を重視し、側面からアプローチしていくことの重要性を認識し、前向きに活動していること。・突発事象に対し、適切に対応するために、日常から総合的に業務を把握しようとしていること ・後輩育成のために各事業に責任をもため、意見を受容していること
・個々のきびしい事例に苦慮していること
・個々のケースにいろいろな対応があり、(人員不足で)できる限りやっているところをみてほしい ・通常の勤務外に本来の仕事(フォロー対応)をしているところ一限度があることに気づいてほしい
・個々のケースに応じた支援を行っていること。それが人と人をつなげ住民グループの組織化につながっていること。
・個々のケースに責任を持ち、問題解決に向けてケースに関わっていること ・日々の保健師活動のなかで常に公衆衛生的観点を持って仕事に望んでいること。・他機関、職種との連携を大事に情熱をもって保健師活動への理解を求めていること
・個々のケースへのかかわりを通じて、ケアマネジャーや家族の意識を方向づける事が出来、そこから町民への問題提議や、意識改革が出来てゆくこと
・個々のケースを大切にしていること。・公衆衛生以外の部分でも学んでいること。(歴史学、社会学など)
・個々のケースを大切にしているところ
・個々のケースを大切にしていること(住民の声を聞き、できるだけ返すこと)
・個々の関わりを大切に、時間をかけて住民と関わっていること。・どの事業に関しても話し合いを時間をかけ行い運営していること。
・個々の事例に対し、知識、経験を生かし、誠心誠意かかわっていること ・担当業務に関する情報収集、研修受講等積極的に取り組み、専門職としての質を高める努力をしていること ・困難な業務、量の多すぎる業務を忍耐強くこなしていること
・個々の状況を配慮して援助することは当然であるが事務処理面でもできるだけ住民の視点や個々の状況を考慮する(法との正合性と現状の接点を考えること)
・個々の相談ケースを大切に、いつでも相談できる体制づくり。
・個々の相談に応じ、受容し、支援していること。・教室の企画・運営を行い、活動していること。
・個々の毎日の生活の中での暮らしにくさ、その対処法と一緒に考える ・それらをまとめて必要な事業を企画
・個人から家族、地域をみる視点で活動していること
・個人との関わりが多く、対応に時間と労力が必要
・個人の個性及び取りまく状況を配慮しながら、必要な関係機関と連携をとりながら、処遇を検討している点。
・個人の考えを尊重して、指導にあたっていること ・保健指導を行うこと(数〜数十年後に、医療費の抑制につながると考えるが、そのための人員、機器(システムなど)etc予算がほとんどつかない)
・個人の問題や現状の課題から地域全体を見て事業を展開している ・連携、協働のもとに住民や関係機関、企業等が主体的に活動するような方策をとっているところ。
・個別から地域まで、住民がどうすれば、よりよい生活を選択していけるか、考えながら、活動していること
・個別ケースのこまやかなコーディネートを行っているところ ・自主グループへの支援
・個別ケースの関わりの評価



・個別ケースの対応の仕方や、その結果としてどのように行動の変化があったか、という個別ケースにおける評価 ・個別を通じて、地区にどのように反映させていくことができたか、という評価。
・個別ケースへの関わり、生活支援
・個別との関わりにおける対応方法や援助内容(支援目標)について
・個別のケースへの対応 ・地域づくり(専門職として住民と関わり、得た情報を基に事業の企画・運営をしている事)
・個別のケースを大切にしていること
・個別のケースを大切に地道に活動しているところ ・住民の声を大切に施策に反映させようと努力している
・個別のフォローや地域の活動がうまくすすむために機関間の連携化や啓発をしていること。・専門的な視点からみて評価、判断している事
・個別の関わりを大切にしているところ。
・個別の健康に関して、家庭訪問等を通して、深くかかわっていること。・地域の組織と連携して保健活動を行っていること。
・個別援助を大切に、質の高いサービスを提供しようと心がけているところ ・優先順位の高い限から、仕事に集中し取りこんでいること ・短時間勤務であるが、時間をやりくりし、市民の方へのサービスの質を落とさないようにしている(家でできる事務は持ちかえる等して)
・個別個別にフォローが必要なケースとかかわっておりそれに費やす時間や事務量等目に見えないかたちとしてあらわすことができない業務があるためそこを理解して欲しい。・住民との関わり声を大切に支援していること。
・個別支援への取り組み ・地域の実情に応じ、事業運営していること
・個別一兼団一地域との関連において、住民の声と統計から得られる数値の意図づけ ・情報収集一実施一評価のサイクルを重要視している ・実施する前の事前アセスメントを重要視している
・個別性を考えニーズにあったサービスを提供していく ・事例や事業に応じ関係機関との調査を図る
・個別性を生かした援助を目指していること
・個別対応では1人1人のケースを大切にしているところ ・1つの事業を広い視野でみていけること
・個別対応をいねいにしてきたこと ・新しい事業を展開するにあたり住民に理解してもらい協力して展開できたこと
・後輩の指導を心がけて行なっていること ・保健師の活動を目に見えるかたちになるよう、情報提供を工夫していること ・常に業務を改善していこうと、自分の意見を伝えながら、みんなで検討していること
・公衆衛生の場で働く専門職として住民と関わり、時間を大切にしているところ ・人と人のつながりを大切にしていること
・公衆衛生活動は、すぐに結果がでる様な活動ではないので、結果をすぐ求められては困る。
・公衆衛生看護の視点で、地域を担当し、仕事していること ・人を大切に、事業を行っていること ・ただのルーチンな仕事でなく創造的な仕事をしていること。(ただ乳健だけでなく、中身のある健診をしている)
・公衆衛生看護活動、予防活動の中での健康づくり ・地域との協働で健康づくりを実施していくプロセス
・公衆衛生的な考え方 ・個へのはたらきかけの重要性 数だけでは測れない
・効率は悪くても、きめこまかな対応をしていること ・個々へのかかわりも大切にしている
・効率的、効果的な事業運営に向けて工夫していること。引き継ぎを受けたことをそのまま行うのではなく、不足点は補うようにし、改善をはかり、無駄なものは省いていっている ・納得できない指示、仕事があまじく文句を言わずこなしていること
・広い視点で情報収集し、仕事にとり入れているところ ・慣例ではなく、住民の声を大切にしたニーズに合ったものを展開しているところ
・広い視野をもって業務にとりこんでいるところ ・情報収集力
・行った仕事を他職種や他の部署の人に理解してほしい。
・行政PHNの役割として50%は住民に対し良い制度を企画し実施化する(ゆくりでもメンバーと共有し) ・後輩の育成を日常業務の中で作りあげること
・行政からのおしつけでなく、住民中心の事業展開を心がけている
・行政における専門職として、現在まで一貫して地域あるいは住民の健康と生活を支える最前線でも新しい知識の習得と実践を試みながら住民の存在を中核に据えて、活動を進めてきたこと。・また、長期のスパンで、ある程度の活動の成果が得られていること。
・行政に勤務する看護職としての判断を、住民の健康づくりに生かす働きをしていること
・行政の一職員であるが、住民との関わりを大切に日常業務をしていること
・行政職と専門職の双方の役割があり要求業務量が多く日々残業に追われている現状である。人員の削減が大きな原因であるが市町村合併を前に期待できない課題である。役職によっておてくる業務の多用さは計り知れないものがある。年々増大する各機関からのアンケート調査にも開口している。評価の前に時間のゆとりとポストにあった仕事をしたいと思う。
・行政職の一員として働いており、専門職にとられない事 ・予算をかせずに、住民のニーズにあった事業を組んでいく事
・行政職員としてまた専門職として住民1人1人のために知識を生かしかつ情報収集・サービスの提供を行っていること。
・業務内容の量と保健師としての責任の重さなど仕事量の負担について評価して欲しい ・地域住民の意見をとり入れた事業を企画していること。
・高令者の実態に即した(地域性にあった)事業を実施しようと関係事業所とよく話し合い企画・運営をしている
・合併前に住民の多種多様なニーズに対応するグループやボランティアを育成していること。・地域の特色を生かした健康づくり計画を作成していること。
・国の動向や住民の声を生かした、地域計画を策定して、それに添って事業を実施、評価している。・チームリーダーとして、メンバーの気持ちを大切にしていること
・今、行なっている事業が、より住民のために有効であるにはどうすればいいのか、考えつめていること(いつも、住民のために、が第一の条件である) ・住民の考え方、生活、地域性などの把握に努めていること
・今まであやふやになっていた事業等きちんと実施要領を定め、上に起案して事業アピールしてきたこと。・住民検診の結果をまとめ、村の傾向を明らかにしていること。
・今やっている業務の評価が、5年、10年先を見て結果を出しているというところ
・今年度より移動、新しい部署となったため、日々、学習し、知識を身に付けようと努力している所 ・人員不足の分の事務作業を行っているところ
・困難ケースの対応 ・定期的なフォロー
・困難ケースへの支援
・困難ケースへの対応、費やした時間や、保健師自身の精神的ストレス
・困難ケースを関係機関との連携の中で対応している現状 ・個別ケースの問題→地域のニーズ把握→事業展開していること
・困難ケース等の訪問が多いことについて
・困難事例について、できるだけ関係機関と連携をし、対応について検討を重ねて対応していること



・困難事例に対し、保健師として、積極的に他機関を支援していること ・地域の現場より得た情報を行政の中で、事業の企画や運営につなげていること
・困難事例への継続的関わりと、他職種との連携 ・住民のニーズや課題に対応した、介護予防事業の計画、実施
・困難事例への相談業務をしているので、日頃の保健師の仕事の内容(良いことも悩んでいることも対応の方法など)を、上司によく聞いてもらい必要な対応(助言)をして欲しい
・困難事例への相談業務をしているので、日頃の保健師の仕事の内容を(良いことも悩んでいることも対応の方法など)、上司によく聞いてもらい必要な対応(助言)をして欲しい
・困難事例への対応のため、対象・家族と向き合い、他機関と連携をはかり解決策等を日々考え他事業を運営していること
・困難事例等に対して多職種の人と連携し情報を共有し問題を解決していく一連のケアマネジメント。
・最近の情報を新聞・雑誌等から得るように心掛けていること ・財政難の中で、経費を使用せず他機関との連携を深め事業をすすめる努力をしていること
・最新の情報や住民の声から必要と思われる事業を計画し、運営していること ・個別の(特にメンタル面)の相談に対応していること(時間をかけた割には 目立たず むくわれないので)
・細やかにケースに対応しているところ
・在宅介護支援センター等との“協働”をつくりあげていくこと ・住民との関わりのなかから事例性を集積し、事業化してゆくこと。
・在宅介護支援センター等関係機関と連携をはかり、統括していること
・財政難の折、コスト面(人件費、物品等)も意識して、いかに住民サービスの質の向上が図られるか考えて事業等を実施しているところ。
・参加者が来てよかったと感じられるように内容を検討したり工夫したりしている部分 ・今は事業につながっていないが将来的な事業のあり方を考えながら仕事に取りこんでいること。
・参加者の数だけでなく内容を評価してほしい
・仕事が担当せなり縦割になっている中、市全体として事業を組み立てる必要性を見て事業提案している
・仕事に取り組む姿勢
・仕事に対してのとり組み(ケース対応や、地区組織活動)
・仕事に対しまじめに誠実に取り組んでいるところ
・仕事に対する熱意 ・チームリーダーとしての役割
・仕事のすすめ方として、地区分担制を重視した活動が、地域全体の健康レベルをあげる活動につながるということ。
・仕事のやる気、与えられた仕事をいかに効率よくするか、能率 ・対人サービスを大切にすること、1つ1つの事例を大切にすること
・仕事の評価が、数的なものだけでなく、住民の安心感、満足感といった「こころ」の部分も評価の対象としてほしい。
・仕事の量や内容 ・アンケート等の統計処理
・仕事への責任感 ・住民への接し方、対応(誠意をもった)
・仕事をきちんと処理しようとする
・仕事をやりやすくするために周囲への気くばり ・仕事の前後の打ち合せ、意見交換を行い、チームワークを大切にしていること
・仕事を一生懸命していること、地味な仕事もあること、効果がみられない仕事もあることを知って欲しい。
・仕事を期限内に仕上げる
・仕事以前に保健師の仕事内容があまり知られていないように思います。保健師が地域で住民の健康の保持、増進のために活動していることをもっとPRし、評価してほしいと思います。
・仕事量 ・解決・対応の困難さかげん
・仕事量が多い中、優先順位を判断し、処理している(それなりに、量をこなしている)こと ・地域を大切にしている ・仕事のスリム化を図っている、効率upを考えている
・市の職員という立場から地域住民と積極的に関わり話をきいたり事業に生かそうとすること
・市民からの苦情やトラブルは、住民の貴重な声と捉え、体制の改善につなぐ努力をしている。
・市民との関わり
・市民と接した部分で、市民の声を繁榮させた事業、実態に基づく必要な事業を考え実行していくこと ・さまざまな情報を学び持ち、市民や関係機関に提供していくこと
・市民に個別対応していることが、虐待予防につながる点 ・地区組織活動が、個別対応できない部分では、重要な点 ・保健師活動が町づくりにもいかされている点
・市民の意見を取り入れながら、事業の見直しを行っていること。
・市民の健康づくり、健康管理のために必要な施策、人材確保を訴える時、市の政策として、位置づけてほしい(限られた財源ではあるが…) ・関係機関との連絡調整、信頼協力関係をもつ事で仕事がすすむこと
・市民の生活の基盤となる広義で言う「健康づくり」にたずさわっていること ・数や量で評価は困難ではあるが、自分を相談相手として思い出し声かけしてくれる等、地道な信頼関係ができること
・市民の声をきき、市民自身の力をひき出していくこと
・市民の声を聞き、必要なサービスを効率よくできるような企画運営を考えていること ・市民と一緒にスキルupしようと考えている気持ち
・市民の要望をきいて、できるだけ実現するところ。
・市民の立場に立って、他機関からの情報を収集し、必要な、情報提供や、支援をしていること
・市民の立場に立って考えるようにしているところ ・何事にも前向きに取り組むようにしているところ
・市民対応の困難さ ・数的なものだけでなく質的な部分
・指導内容
・支援が必要と思われる(弱者方)に対する質的関わり 数値化しにくい、変化しにくい部分だが、行政だからこそできるサービスだと思うため
・支援している住民の変化をみて評価してほしい
・支援の必要なケースに対してタイムリーな訪問が出来るか ・事業、企画、運営
・施策(事業)を考えるのに、市民にとってニーズがあるのかどうか利用しやすいかどうかをまず考えること

<p>施設を利用している児の健康状態だけでなく、その保護者や児をとりまく環境についても保健・支援対象としてとらえ関わっていること。・管理担当に所属している職員として、施設(ハード)の安全・衛生に対しても留意していること。</p>
<p>・死亡、市民検診等のデータからと住民の声からとで事業を展開している。</p>
<p>・私は福祉職場で働いていますが、保健師という医療的視点、保健的視点にて援助活動をしているところ(保健師でなければ気づかない点など) ・住民の声を聞いて、町行政へ反映させようとしている点など</p>
<p>・事業(講座)を行うにあたり、講義、実技のリハーサル等準備を行い、きちんと参加者に伝えるべきことを整理していること。</p>
<p>・事業1つ1つに対して、いろいろ考えながら運営しようとしている所</p>
<p>・事業がうまくすすめることができるように他機関との連絡調整を密にしていること ・同僚との仕事が円滑にすすむことができるように、よりよい人間関係を築こうと努力していること</p>
<p>・事業について有効性を考え、費用も最少限に留めるよう考慮していること 最少限の費用で最大の効果が上げられるよう検討している ・専門職として一事例一事例を大切に扱っていること、事例の生活の質の向上をはかっている</p>
<p>・事業に対する企画運営について</p>
<p>・事業の運営が効果的に行えるように、スタッフ間の連絡、情報の共有に気を配っていること。・専門職としての住民への関わり</p>
<p>・事業の企画、運営 ・相談業務</p>
<p>・事業の企画・運営・評価について常に考え事業を展開していること</p>
<p>・事業の企画・運営をしていること 関係機関との連携をとっていること ・住民の立場になって対応していること</p>
<p>・事業の企画・立案業務 ・保健師としての専門性とそれをいかした行政職(保健師)であること ・職場での位置づけ一役職、ポスト(昇格)</p>
<p>・事業の企画と実施 ・関連団体、関係課、係との連絡調整 ・職員の指導育成 ・区民ニーズの把握</p>
<p>・事業の企画内容 ・住民の声を事業に反映するところ</p>
<p>・事業の企画立案・運営及び実施結果について効率的でかつ、住民にとってよりよい事業を実施できるように務めているところ</p>
<p>・事業の計画、実施、評価まで事業実施に至る過程</p>
<p>・事業の効率、効果を考えながらも、できるだけ住民のニーズにそった仕事をしていること</p>
<p>・事業の効率や、数値の変化だけでなく、数にはできないところの変化(住民意識の変容等) ・企画書や、計画書を作成したものやそのプロセス</p>
<p>・事業の参加者がよい方に変化したり、参加者グループ自体が力をつけ始めた時。</p>
<p>・事業の参加者から出た声をもとに新たな事業を企画運営するが、事業の参加者数のみで、評価されてしまい、参加者の満足度などは考慮されない</p>
<p>・事業の実施に至るまでの企画・運営、連絡調整</p>
<p>・事業の中で出る住民の声を大切にしていること</p>
<p>・事業の必要性を住民サイドに立って大切にしていること。・接遇を第一に考えているところ</p>
<p>・事業を1つ1つこなしているのではなく、全体をみて、大系的に整理し、全体のバランス調整をしながら仕事をすすめようとしている点 ・住民参加型から住民参画、住民主体を実現しようとする事業にとりこんでいる姿勢</p>
<p>・事業を行う上では目に見えにくい、他職種との連絡調整</p>
<p>・事業を根拠に基づいてまとめて発表していること</p>
<p>・事業を実施していくにあたり、関係機関、職種と連絡調整を図りながら進めていること ・特に新規事業を開始にあたっては、打合せ会議を持ち、意志統一を図りながら、企画していること ・受け持っている業務について統計処理を行い評価に努めていること</p>
<p>・事業を実施する上で企画運営していく過程とその結果。・課員と協議し、業務を行っており、仕事に対する姿勢。</p>
<p>・事業を受ける側に立ち検討し、事業内容を新たにしていること。・1人では多すぎる仕事量を背負って事業を進めていること。</p>
<p>・事業を通して住民に関わる際の評価 ・事業の運営、企画</p>
<p>・事業施策化に到るまでの水面下の関係者との調整について</p>
<p>・事業実施後の結果 ・住民の声を生かした教室</p>
<p>・事業実施後の、結果(回数、参加人数)でなく、現場での専門職としての対住民に対するかかわりや、活動の中身</p>
<p>・事業展開をしていく中で(国の動き、市の特性を踏まえ)の企画、運営をしていること。・担当内・課内での働き。</p>
<p>・事業名のない仕事をしていること。看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。</p>
<p>・事後ケースに対し、訪問を行い積極的に関わろうとしていること</p>
<p>・事後のフォロー方法について ・健康教育の手法について</p>
<p>・事務仕事だけでなく、住民の方々に接して一人一人に合った計画をしていること。</p>
<p>・事務事業評価等を利用して、保健事業を、専門職以外の人々に理解してもらうよう努めている。(保健事業は、評価の指標が、数値化されにくく、他部門の方々に理解されにくい面がある。) ・市の計画に基づいた事業の実施と、進行管理</p>
<p>・事務職が多い職場の中で専門職としての視点の持ち方、ケースへの関わり 地域への入り方に対して ・どんな内容の相談に対しても行政としての壁をつくらず対応していること</p>
<p>・事務職が臨時職員対応なので事務的な業務が多いが予算事務等も併職事業として実施している事 ・住民の声を企画運営に反映できる。</p>
<p>・事務職とは違う専門的な視点、市民の生の声を業務に反映して事業や相談業務を展開していること、又、これまで培ってきたネットワークを活用していること。立場や職位、組織の壁をこえて仕事をしていることなどを見てほしいと考えています。また、係全体を視野に入れ、行政の一員としてどういう方向をむいて仕事をしていくのか行政の役割等を新人や経験の浅い職員に、OJTを活用して行っていることなどです。</p>
<p>・事務職中心の業務の中で専門職として、住民の声や地域実態にあわせたサービスになるように運営していること ・縦割りの行政サービスの溝をうめるため他部署との関係を大切にしていること</p>
<p>・事務的な仕事が多く、なかなか本来の地域での仕事ができず、ジレンマがあります。評価してほしいと思うほど、有意義な仕事ができているかな。</p>
<p>・事務能力ではなく専門能力を評価してほしい</p>
<p>・事例・事業を通して他職種、他機関と連携を図っていくとしていること</p>
<p>・事例によっては、丁寧に時間をかけた対応が必要な場合があるなど必要以上に時間がとられたり精神的な苦勞が多いことを理解してもらいたい</p>
<p>・事例のアセスメント、カウンセリングなどの確に処理し、関係者との連携により、対応している</p>
<p>・事例や地域、関係者との連携がとれるように、情報提供や調整をしていること</p>

・事例を大切に継続して支援していくこと
・事例を通していろんな機関との調整をとっていく機能が保健師の職能であること。又、そこから、生じる新しいサービスを企画していく能力など評価してほしい
・事例対応におられる日々だが、事例対応は目に見えないし、評価も、されない。やっあたりまえと思われている
・児童虐待の初期対応をしているが、医学的、保健的な判断を行なう場面が多い。・関係機関との連携は必須でありこれまで培った関係機関についての知識、連携のためのパイプを生かしている。
・児童福祉分野の保健師として、福祉サイドでの予防を視点をもちニーズに対応できる事業の提言と企画実施をしていること。・教育分野と連携をとりケース対応や処遇についてのサポート体制の構築に取り組んでいること。
・時間はかかるが、住民の人と会話の場を多くもち、地域把握をしていけるよう努力しているところ。
・時間はかかるが1つ1つのことをよく熟慮して取り組んでいるところ。
・時間内になるべく仕事を処理するようにしていること ・それでも住民の声を大切に、自分の中でできることできないことを整理しようとしていること。
・時代が求めている事業の企画 ・他職種との連携により職員が働きやすい環境をつくる
・時代にあった(即した)活動であるよう業務内容について検討していること ・住民の声を大切にしていること ・個々の状態にあった相談をしている
・時代に対応した医療等の知識を習得しながら、専門職として住民と関わり、保健事業を推進していること。
・自らが動き、先頭立って働いていくのではなく、住民が主体となるように働きかけているところ ・常に業務をふり返り、問題点をきちんととらえ、改善点を考えていること。それを1人で考えるのではなく地域としてみるができるよう、他の職員にもなげかけをしている点
・自分が勤めている自治体は、自治体病院も抱えており、医療職というどうしても、病院のスタッフというイメージがあり、私たち保健師は行政職として事務も他の職種と同じくらいこなせて当たり前と思われている部分があると思います。もっと、看護医療の知識を持っている専門職として認めてほしいと思うこともあります。
・自分が主に担当している業務(母子保健事業)について、住民のほとんどを覚えて(顔と名前が大抵一致し、そのケースの状況まで大抵把握している)ところは、もっと評価されてもいいと思う。
・自分なりにこれまで学習してきた知識を活用しながら、事業に取り組んでいること。
・自分なりに真じめにとりこんでいること ・仕事を遂行していく上で十分に対話ができ、その中で仕事をすすめていくことができればと思う
・自分なりに目的、目標を持って取り組んでいる。・やりがいある仕事として楽しんでいる。また、誇りを持っている。
・自分の価値感を押しつせず、住民が相談しやすい(話しやすい)環境をつくっていけるよう心掛けていること。
・自分の関わりによって対象がどのように変化したか。
・自分の仕事だけではなく、チームとして全体のバランスを見るよう心がけていること。・関係機関や住民とのコミュニケーションを大切にしていること。・住民の声を大切にしていること。・行った仕事に対して評価を行い次へとつなげられるよう自分なりに努力していること ・責任感をもった仕事をしていること
・自分の仕事により、対象となった個人、集団がどのように変化したか。
・自分の仕事に自信がないので、現在の仕事の勧め方でよいのか評価というより助言してほしい
・自分の職種としての本分は、自覚し努力している処であるが、行政職として、とりえず立場(課長)である、関係機関課長などでは、事務課長より劣るような雰囲気がある、その為早くから、予算や財政的な知識を十分反映出来る処を評価してほしい
・自分の専門知識を生かし、住民と関わっていること
・自分の担当意外のことも、できかぎり、知り、何かきかれても対応したり、できるように、心がけていること。全体をみようとか心がけていること
・自分の分析、企画等の能力について、どのようにしたらより良いものになるのか
・自分の役割(仕事)を、責任をもって遂行しようとしているところ ・住民に対して、いつも親切、丁寧を心がけているところ
・自分の力量不足を強く感じているため、今現在、自信を持って、「評価してほしい」と言えるところは、思いあたりません
・自分自身が、住民とより密接したかわり等、関連施設とのかかわりの中で、解決へむけて模索しているところ ・住民の声をできるだけ聞こう工夫しているところ ある程度の評価は受けていると思っています。
・自分自身に任せられた業務は、責任をもって実施していること。・ひとりで、仕事を抱えます、相談し、連携をとりながらチームでケースに関わるようにしていること。
・自分専門職の考えだけでなく、住民等の意見を聞き、それを、住民と一緒に考え企画していくところ ・予算・人員が少ないが、少ないなりに知恵を出して企画していくところ。(人と金がなければ知恵を出せ)
・疾患病態だけでなく、その人の全体像(社会性も含めて)をみながら、援助していること
・疾病予防、連携における業務の広がり ・係の和
・質的な評価(従来の回数や参加人数、予算の大きさでなく評価してほしい)
・実際に、かかわっている人は、他職種でもそのかげで調整や判断をしていること ・教室などもきちんと地域の問題を考えて、企画している
・実際に現場で必要とされる仕事を企画運営していること
・実際に行っている現場、状況を見て、住民の反応や声を知って欲しい、参加人数は少ないながらも、内容を充実させるために行っていること
・実施回数、参加者数等の数的な増減をみでの評価でなく実施の内容、そこまでの経過も評価してもらいたい。
・実績数だけでなく、対象者の声、状況も評価の中に入れて欲しい
・実績数ではなく内容・質を評価してほしい
・社会的に弱者と言われる人たちの声を聴くことができること ・関係機関等の情報、連携
・受け持ち事業を評価修正し、よりよい事業にすべく、改善している事 ・マンパワー不足の中、事業や何とか円滑に運営できている事 ・住民の力になれているかどうか
・受診した人が来てよかったと思えるような健診、事業運営を心がけている満足度
・受診率や、受講率等、数で見える評価だけでなく、その後の生活改善や受診した住民の声などを総合して事業を評価してほしい。
・周囲からは見えにくい事務的な業務 ・継続が必要なケースとの個別的な関わり
・周囲との人間関係の調整能力など
・集団、個に対する対応の適切さ
・集団へのかかわりも大事であるが個に対してのかかわりを大事にしていること。又、そのかわりを事業へと結びつけている。
・住民(参加者)の声をききながら、健康教育など展開しているところ。
・住民(対象者)との関わり展開 ・事業の運営etc

・住民(対象者およびその家族)との接点をとらえて、現状を把握するように努め、それらを基に事業の企画をしている。
・住民、スタッフも、良い点を認めて、大切にしている
・住民、事例の声を大切にしていること。
・住民、相談者の意見を尊重しながら各関係機関と連携しながら、相談、支援にあたっていること ・住民の声を大事にしなが、訪問活動を行い地域の健康を考えていること
・住民1人1人との関わりの機会を大切に、親身になって対応している点。
・住民1人1人との関わりを大切に、それを基に色々な事業を実施していること。・看護の専門職として事業にとり組んでいること
・住民1人1人との関わりを大切にしているところ ・数値的なところではなく、姿勢や判断力や対応などを評価してほしい。
・住民1人1人に対し丁寧な対応をし、その人のニーズや状況に応じたサービスの提供や関係機関との連携を迅速に行っていること ・保健事業に活かし、反映させるために必要な統計的なデータをとり住民の声を大切にしていること ・より効果的で効率的な仕事・事業を展開するための振り返り見直しを行っていること
・住民1人1人の対応を大切にしているところ ・住民や関係機関との関係づくり
・住民1人1人への対応を丁寧にしている所
・住民1人1人を大切に接し、住民の声を大切に、住民の立場に立って仕事をしている点
・住民が、健康で過ごせるために関わった人々には、常にそういう気持ちで接していること
・住民がサービスを利用しやすいように住民の声をとり入れながら運営をしていること
・住民がどう感じているか、住民の生の声…
・住民がまた保健サービスにきたいという気持ちなるよう努力している所。・人間関係を大切にしている所。
・住民から、「相談し易い人、何でも話せる人」と思ってもらえるように努力しているところ。→仕事以外の所で会っても声をかける(自然と出る)し、相手から先に声をかけられ、仕事のことで聞かれたり、相談を受けることもある。いろんな健康情報が流れている中で、より正しいと思われる情報を住民に伝えるために、研修を受けたり、専門誌(保健衛生ニュース・地域保健・公衆衛生情報など)や図書等で勉強をするようにしているところ(専門職として当たり前と言われるかもしれないが…) ・地区住民や他機関からの健康教育や相談の依頼に対し、積極的に受け入れて向いているところ。
・住民からの相談にて問題があればすぐ対応しているところ
・住民からの要望やアンケート結果等を事業に反映させている事。・年1回町長、町内Dr、医師会長、検診機関の長やDrとの会議の機会をもうけ事業を展開している事
・住民から求められているタイムリーな対応については多くの関係機関と連絡調整を実施していること。・対応事例の数だけで業務量は評価出来ない。事例を通してりまく環境へも良い影響を与えていること。
・住民から得た情報から企画・運営をころがる ・とにかく住民・他機関から相談があったら自分の目で確認しにい(緊急度の把握)
・住民が安心して健康について相談できる場として保健センターが活用されているのか ・保健事業に参加して、住民が自分の健康管理をどれだけできるようになっているのかなど、住民の行動変容によって評価して欲しい
・住民が気軽に相談できるということ ・知識や情報を得たことが健康回復や健康づくりに役立っているということ
・住民ケースを大切にしているところ。そこから問題点を明確化し訴えていること ・ケースを通し、他のケースに活かせるよう、他職で連携し、情報を深く得ていること ・事務処理を行っていることも評価してほしい
・住民サービスに役立っているかどうか
・住民サービスの向上
・住民サービスへの対応とその工夫が実施されている点
・住民サイドに立った活動をしたいということ。
・住民さん1人1人が健康で生活し続けることができるように、各機関と連携をとったり、事業の運営をしていること。
・住民さんと直接接する機会が多く、生の声をたくさん聞くことができる
・住民とかわかり、ニーズにあったサービスを提供しているところ。・住民の立場に立った意見が言える事。
・住民とともに生活する者の立場を生かしながら、地域住民の声を聞いていること ・保健の分野は短い時間でなかなか効果が現われることは少ないが着実に進んでいること
・住民とどれだけ密着した活動の展開をしているか ・行政内部の調査や議会対応がどれだけできているか
・住民とのかかわり
・住民とのかかわり ・統計住民の声、反応から事業企画、運営をしている
・住民とのかかわりから、地域を分析した、統計をもとに事業の企画運営をしていること
・住民とのかかわりを大切にしていること
・住民とのかかわる時間がとりにくい中、日々の健診、健康教育、相談をこなしながらもかかわりをもとうとする気持ちをもっていること
・住民とのコミュニケーションを大切にしているところ ・相談や教育をおこなうため、継続して勉強しなくてはいけないところ
・住民との関わり
・住民との関わり
・住民との関わり ・事業への取り組み
・住民との関わり、そして事業評価、企画運営力 ・その場における適確な行動、判断力
・住民との関わり、声を大切にしていること。
・住民との関わり、他職種との情報交換連携の中から住民の声や地域の状況を知り、事業の中に取りこんでいくように考えながらしていること
・住民との関わりから、その個人の健康レベルの維持、増進に寄与していること(予防は見えずらい)
・住民との関わりから、その個人の健康レベルの維持・増進に寄与していること(予防は見えずらい)
・住民との関わりから課題など検討し、事業などの展開をしているところ
・住民との関わりなど
・住民との関わりの中から事業の企画等を行っている事(住民の声を大切にしていること)
・住民との関わりの中から得られた情報を基に事業、運営を考えている点 ・能力に見合うだけの仕事の運営の仕方

・住民との関わりの中から得られた情報を基に事業、運営を考えている点 ・能力に見合うだけの仕事の運営の仕方
・住民との関わりの中で、信頼関係を築きやすいよう、住民の声に耳を傾けできるだけまめに連絡をとろうとするところ
・住民との関わりの中で、必要時、事業の見直しを行い、住民の声を大切にしている事 ・他機関の人との連携、連絡を大事にしていること
・住民との関わりの中で住民が問題解決し成長する過程の中で専門職として支援していること。
・住民との関わりの中で問題解決している点 ・住民の健康管理に努力している点
・住民との関わりや声の中から、事業にその内容を反映していこうとしていること。(なかなか実現へは難しいですが…)
・住民との関わりをもちながら、住民の声を反映できるような健康づくりを心がけている。
・住民との関わり方 ・組織の一員として働いていること
・住民との関わる場面(事業、健診等)では、なるべく多くの人と接し、情報交換を密にすることで住民の現状を把握し、信頼関係が築けるよう心がけている。
・住民との関係づくり
・住民との触れ合いを大切にし、住民の声を活かすような業務を行っていること ・他職種との連携を図りながら、会議を立ち上げ、推進していること
・住民との接し方(声を大切にすること) 企画立案、予算を取ってくることも大切だが住民といかに多く接して情報を得たりすることの必要性
・住民との接し方。住民の意見をききつつも、行政として、まとめ上げなくてはならないところ。・新しい事業をお金をかけないで、取り組もうとする意欲。
・住民との接点が多く地区内の情報を幅広く収集でき、現状をとらえられる
・住民との対人間としての関わり、つながり ・場面、場面に応じた関わり方
・住民と関わりをもちそこから、時間をかけて話を聞いたり、ささやかながら、他の職種と連絡し合い話したこと、その結果を返すこと等目にみえない時間にあらわせないこと。・事業を企画する時の考える時間とか。
・住民と関わり得た情報から事業に反響できる職種であるということ
・住民と関わり得た情報を事業に生かすこと
・住民と関わる中で、柔軟に、相手にとって最適な方法を考えて問題解決に結びつけている点 ・妊婦、乳児から高齢者まで、多くの対象者と関われることを、強みに活動していける点
・住民と協同で地域の健康づくりの活性化を図ろうと努力しているところ ・複数の業務を抱えて日々奮闘しているところ
・住民と信頼関係を築いているところ
・住民と信頼関係を築き、より健康な生活ができるように関わっていること。・地域の健康づくりとして何が大切か統計や住民の生活・声を考慮して、事業の内容を考えていること。
・住民と身近かに接しており、住民の直接の声がきけ、生活の様子もうかがうことができる。そのことから事業の企画、運営ができていること。
・住民と接する機会を大事にしているところ、傾聴するところ
・住民と専門職や関係機関との連携、協同で保健活動をすすめていくこと
・住民と直に関わり、その人の不安解消や健康づくりのために支援活動していること。・地域に足を運び、実際に、地域の中で、活動していること。
・住民と直接関わり、健康的な生活を一緒に考え提案していること。
・住民と直接関わる人が多いので、そこから得る情報、要望を事業に生かせるように、考えていること。
・住民と直接的な関わりが持て、声を捨うことができること。
・住民と密着しているところ。
・住民にとってどうなのか？を常に考えより住民のニーズに対応できるよう住民からの声を事業運営の中で生かすところ。(改善点など) ・専門的な知識や予防的な視点を活用しながら各々の住民に合った考え方や方法を駆使して支援しているところ。
・住民にとって身近な存在でありながらそれを施策に生かそうとしていること。・専門職としての関わり助言について
・住民にとって身近な存在として、住民のために働いていること ・予防活動を行っていること
・住民に喜ばれ、必要とされているかどうか
・住民に近い存在であり、住民の声が耳に入ってきやすく、情報を持っていること ・ただ実施形態を変えているのではなく、周囲の状況や住民の立場に立った視点(生の声をもとに)で、運営、転換していること ・住民の盛り上げを大切にした事業展開
・住民に最新の情報を提示し、住民から信頼されていること ・住民の立場にたった事業であるのかなど常に反省をふまえながら、業務にとりこんでいること ・住民からの生の声を積極的にとり入れていること
・住民に常に近いところに位置し、声を聞きながら活動するようこころがけ、前向きに保健指導、事業のあり方を検討すること ・地区組織の育成にもこころがけていること
・住民に身近なところで活動しているところ ・住民の声を生かしながら事業にむすびつけていこうとしているところ
・住民に身近な保健センターであるよう、住民への接し方の工夫や、住民と関わっていること。
・住民に対し、自分のもてる知識、経験を活かし誠意をもって対応すること。・組織活動において(特にグループ活動等において)個別の能力を考え適正な役割りを見抜き、運営すること
・住民に対して笑顔で接しているところ
・住民に対する姿勢 ・仕事の責任
・住民に対する早急な対応
・住民に対する対応 ・一生懸命なところ ・他者との協力
・住民に評価されたい。・今の仕事が気に入っている点を評価してもらいたい。
・住民のQOLの向上を第一に考え、地域ニーズを把握し、根拠に基づいた活動を行い、評価まで行っている点 ・創意工夫をしながら、活動がよりよくあるように常に改善を加えていること
・住民のかかわりを大切に、健康づくりのための自己の行動変容をできること。・地域全体をみて、健康度を高める事業展開をしていること。
・住民のニーズに応じ、住民を主体とした保健活動を心がけているところ
・住民のニーズに合ったフォローを構築しているところ
・住民のニーズに合った事業にしたいと考えているところ

・住民のニーズに合わせたサービス提供のために、企画、運営をしていること
・住民のニーズに合わせた事業展開を企画するための情報収集等を行い、住民参加型の事業展開を検討していること
・住民のニーズに耳を傾けながら、事業を実施している ・個別ケースへのケースワークを大切に、また丁寧に関わっているところ
・住民のニーズに創したサービスであること、しかし、すぐに結果がでるものではなく長い経過の中に浸透していくことをわかってほしい。
・住民のニーズに対応し、効率的ではないが住民一人一人の健康を推進していることの評価 ・効果は長期間でないと判らないが予防活動の重要性
・住民のニーズの把握に努め、それに応じた社会資源の活用を支援すること
・住民のニーズへの対応
・住民のニーズや困っていることに耳を傾け、少しでも改善できるように、関わっていかうとする姿勢。
・住民のニーズや実際を知ろうとし、理解に結びつく健康教育ができるようになるため工夫、努力をしていること
・住民のニーズをすいあげ、役に立つ企画、運営をしていくこと、単に調査会社がアンケートで出した数字より住民の生の声を知っておりそれを計画にいかすことができる ・医学や疫学的な統計についても少しは処理や分析ができること ・専門職として事務職とはちがうみかたができること
・住民のニーズを基に事業を企画し、評価をしていること
・住民のニーズを大切に、行政サービスへ反映させ地域の健康づくりを推進するという保健師の役割をまずは理解してもらいたいと思います。個別指導・相談は個人の力量にもよるところがありますが、ほとんどの仕事は1人でできません。特に保健師の配属先が多様化している昨今、チームの一員として、前述のような観点で仕事をしていることを評価してもらいたいと思います。
・住民のニーズを大切に、自分たちの役割を理解した上で適切に対応できること。・国や県、市政の動向を見ながら、地域住民の健康維持増進のための事業を展開できること。(私はできていない) ・仕事に対する考えや事務量など…
・住民のニーズを大切にしたり関わり方 ・科学的なデータを基にした事業の企画運営(地区診断)
・住民のニーズを把握し、事業の企画・運営につなげているところ ・係内の調整により、事業運営等スムーズに進行できているところ ・住民参加、協働の町づくりを推進しようと努力しているところ
・住民のニーズを把握し、住民とともに地域活動をしていること ・個々の事例を大切に、それぞれの状況にあわせた対応をしていること
・住民のニーズを反映した事業の企画・運営・評価 ・各事業の準備や後片付け(効率的に)
・住民のニーズを分析して事業を実施していること ・個別のケースを大切にかかわっているところ
・住民の意見が事業の企画・運営に反響され、住民に喜ばれる事業展開ができていくこと ・保健師との出会いにより、行動変容や生活改善ができること ・住民の声を行政に反響できること
・住民の意見に耳を傾けながら、予防の視点でかかわったり、事業と運営していること。
・住民の意見や統計処理したものを問題点を見つけ出し、予防的側面から関わっていかうとしていること。
・住民の意見をききながら仕事をすすめている点
・住民の意見を反映しようとしていること。・先を見て事業を企画しようとしていること。
・住民の意向に沿った内容を企画・運営し、それが、住民自体の健康保持を意欲的につなげることに役立っていること
・住民の意向に応じ問題解決に必要なサービスの調整、支援にあたっている点 ・保健業務そのものの評価が目に見えてあわしにくいことを考慮していただいた上での保健師の必要性。(目に見えた評価を行う工夫は必要ですが)
・住民の意向を極力優先的に取り入れる点、対人サービスを大切にすること
・住民の意志を尊重しながら看護や医療の知識を生かした専門職として関わるように心がけていること
・住民の一人一人の声や力を大切に健康や暮らしを改善していくことの支援について
・住民の気持ちやこみながらも専門的に保健事業を担おうとする姿勢。・一日の業務を行うなかで最低、産休代替PHN、時短中のPHNが時間内に業務を終えるよう、又、妊婦PHNが労作上負担軽減できるよう努力していること。
・住民の健康づくりに一生けんめいであること
・住民の健康づくりのために一緒に考え、実践への支援をすること。
・住民の健康づくりのため特に一次予防が重要と考え、それを基に自己学習したこともふまえて事業の企画、運営を行っていること
・住民の健康のためにすぐに成果が出ない地道な活動をしていること。
・住民の健康相談の際の対応(接遇など) ・専門的な知識を生かし、住民に対応している
・住民の健康増進を第一と考え、予防活動に積極的に取り組んでいるところ。
・住民の個人の特性に合わせて関わり、必要性を見出していること。・関係機関との情報交換を密にし、住民と関わっていること。
・住民の個別な相談(メンタルな部分)が比較的多く、仕事、それ以外でも(いつでも)対応していること
・住民の思いに添って支援しようとしているところ
・住民の思いを受けとめながら対応すること 住民の声を大切にすること
・住民の思いを大切に聞きとること ・一人一人の市民の要望に誠意をもって応えていくこと
・住民の視点から現在必要な、求められている事業、説明等をしようとしている。・課内外、スタッフの調整
・住民の視点で考えようとするところ ・できるだけ関係機関と連携をとりたいと考えていること
・住民の視点にたつて、考えようとしている点 ・他は今勉強中なので、とくにないです。
・住民の視点に立って一緒に処遇を考え、保健・医療・福祉の連携をとりながら、システム化していること。・介護保険の情報を分析し、地域の問題点や状況を明らかにしていること
・住民の持っている力をひきだせるよう心がけをしている。・事業と事業を関連づけるよう心がけている。
・住民の持つ力を生かして、自立した住民活動をすすめているところ
・住民の自主活動への支援とそのためのプロセスについて地域保健に関する専門職として関わっているという点の評価
・住民の主体的な活動を重視する観点からそのための環境づくりをめざした事業の企画・運営をすすめていること
・住民の主体的な健康づくりを支援するための専門的知識を生かした企画運営をしていること ・住民の行動変容へのアプローチの専門性
・住民の状況に応じて、関係機関及び、他の職種との連絡をとり、話し合いをすすめているところ

・住民の身近なところで、乳児から高齢者まで一生を通して健康づくりにかかわっていること。
・住民の身近な相談窓口として、気軽に相談できるよう敷居をひくく心がけていること。・住民のニーズを反映した事業展開をしていること。
・住民の身近な存在でいられるよう、ちょっとしたことで家庭訪問をかかさない ・20年前からの統計資料があり、常に長期的な視野から住民の健康問題を見ている ・住民健診後のフォローをすべて個別に実施
・住民の人たちの立場にたって仕事をしているということ。
・住民の生活の場に入り、直接の情報を得て個々の問題に対応していること。
・住民の生活の場へ出向いて、実際の生活・思いを情報収集し、専門的にアセスメントをして仕事を行っていること。
・住民の生活の中に入っていける看護職として住民の声をききながらの健康問題を政策に取り込んでいけること 大きな目で言えば世の中(社会)や国、県、市の動きと生活者とのパイプ役
・住民の生活の中のニーズを顕在化し、ニーズの解決のために事業を実施していること
・住民の生活実態やニーズを把握、分析し、その情報を基に事業の企画、運営、評価に努めていること。・保健分野のみならず、医療、福祉等各種制度、情報をコーディネートし、個別ケアに努めていること。
・住民の生活状況等を場をとらえて把握し数値として表わしている ・住民との関わりで得た情報を基に事業を企画・運営していること
・住民の声(もとずいた、事業を企画しようとしていること)を大切にしていること
・住民の声、スタッフの声等を仕事にいかすよう努力しているところ
・住民の声から、事業を企画していくこと
・住民の声に耳を傾け(ニーズ)保健事業を実施しているし、いつも、そう心がけていること ・町づくりの視点に立ち保健事業をすすめていること
・住民の声に耳を傾け、住民の声を事業に反映しよう心がけている事 ・話しやすい態度、気をつかわないで話をしてもらるように雰囲気づくりを心がけている事
・住民の声に耳を傾けていること ・外(訪問等)に出て、地域住民と関わること
・住民の声の中から、できそうなことを住民といっしょに考えできそうな事業を割り出してきたこと ・歯科予防活動に取り組み、むし歯の多かった地域が、むし歯の少い地域に変っていること ・子育て支援事業に早くから取り組み、育児不安の母が楽しく子育てのできる自主組織が地域にいくつもできたこと ・閉じこもりがちの障害者が地域参加できる事業を割り出していること ・検診事後として長年糖尿病教室を開催地域の糖尿病患者の継続したフォローを実施していた、その結果、近隣市町村は糖尿病死亡率増加しているが、当町村は低い
・住民の声も大切にしながら仕事をしているところ。
・住民の声や、気持ちを聞き、汲み取りながら、行政主導にならない様な活動に留意している
・住民の声や、現場の職員の声を大切に、事業の組み立てを考え作業していること
・住民の声やニーズが施策化すること ・住民の生活や意識が良い方に変わったり、関係者の理解が得られて組織が少しずつできること
・住民の声や現状を把握し、必要な事業を展開していること。・同じ業務(健診)でも、毎年工夫して改善していること
・住民の声や行動、統計etcから既存の事業の中で、内容を充実させているが、すぐに目に見える効果がないとダメと言われてしまうのが現状。住民の方の行動変容や知識量etc小さな変化がおこってきているところを理解してもらいたいし、いろいろな方法(アプローチ)や手段を考え、実行していること。(地道な努力をつまかさねていること…) ・地域を診断し、活動に生かしていること
・住民の声や地区診断よりそこからの行政サービスの改善を提言していること
・住民の声や要望、将来を見すえたテーマで、教室の企画運営し、参加者に喜んでもらった時 ・担当ケースが問題解決していった時 ・新規事業を立ちあげ、順調に経過した時
・住民の声をいかに反映させた、保健事業を展開しているか
・住民の声をきいていること
・住民の声をきき、ていねいに対応していること。
・住民の声をきき、得た情報の中から事業の企画運営を行っていること
・住民の声をきこうとするところ。
・住民の声をきこうとする姿勢を持ち、住民と笑顔で接すること。
・住民の声をしっかり聞き大切にしているところ ・事業を計画し、実施した時、参加者数ではなく参加者の満足度
・住民の声をできるだけ施策に反映させたいとする心構え。
・住民の声をできるだけ反響させようとしているところ ・他職種や関係者、組織との調整役としての役割
・住民の声をとり入れるために、1人1人丁寧に聞き、信頼関係を築いている点 ・マンパワー不足の環境の中でも、自分でできる範囲で仕事に努めている点
・住民の声をよく聞き、住民によりよいサービス提供に努めているところ
・住民の声をよく聞き、健康づくりの事前にかかっていること
・住民の声をよく聞き、事業の企画・運営をしていること。・専門職として、住民に関わっていること。
・住民の声をよく聞くようにし、尊重すること。(自分の知識を押しつけないように心がける。) ・住民の声を他の職種に訴えるようにすること(非公式の場合)
・住民の声を事業に活かすよう、住民の声を拾う努力をしていること。・情報を発信し、より多くの人に保健事業について知ってもらえるよう工夫していること。
・住民の声を事業の企画にとり入れたいと思うが、時間がかかる→改善したいという思いをもちつづけているところ ・たくさんの業務をなんとかクリアしているところ。
・住民の声を充分に聞き、必要時、他機関と連携し、個別対応していること
・住民の声を重視して、仕事をすすめていること
・住民の声を生かし、事業に企画(統計、アンケートを基に)。(住民の関わりの中から)
・住民の声を生かしたり、自分自身が住民の立場になったと考えて、事業をすすめること。・新しい看護、医療、育児の情報をあつめ学んで業務に活かそうとするところ。
・住民の声を生かして事業の企画・運営をしていること。
・住民の声を生かせる保健事業、街づくりをしたいと積極的に取り組んでいること
・住民の声を大事にし、住民に対して、よりよい事業展開をしているところ ・若い保健師へ、保健師の業務について、理解を得るようにしているところ
・住民の声を大事にしていること





・住民の声を大切にしながら専門職として、そのことが事業企画に反映されるようにしていること	・自分中心の視点ではなく、専門職として、他の経験者の声等もききながら、事業に生かすようにする
・住民の声を大切にしながら専門職として住民に必要な援助を提供しようと努力していること	・一生懸命に仕事に取り組む姿勢
・住民の声を大切にしようとしているところ	・地域に密着した事業を大切にしている
・住民の声を大切に地域活動をしていること	・各事業の評価をし、展開しているところ
・住民の声を大切にすること、姿勢	
・住民の声を大切にすることを心がけていること。	
・住民の声を大切に意見を集約して保健事業を計画、立案していること。	
・住民の声を大切に事業化につなげているところ	
・住民の声を大切に少ないながらも家庭訪問や来所対応を積極的に行っていること	
・住民の声を大切に丁寧に丁寧に対応する努力をしていること	
・住民の声を大切に保健事業の展開(企画・運営)をしていること	・住民の方たちの自主活動(地区組織)の活躍等が活発になっていること
・住民の声を第一に個々を大切にした業務を行っていること	・地域の問題点からどのような方法が効果を得るのか試行錯誤しながら業務を行い地域に応じた事業を展開している
・住民の声を聞きながら事業を実施していること	
・住民の声を反映した事業をするために、アンケートなどをとり、次年度に向けてよりよい事業をするよう心がけている。	
・住民の声を聞いたり、関係機関との連携を大切にしていること	
・住民の声を聞いて報告していること、その人にとって何が必要かより何を必要としているのかを大切にしていること	
・住民の声を聞き、専門職の知識をあわせて、地域事業を企画・運営している	
・住民の声を聞き、大切にしていること	
・住民の声を聞き、地域の実態をみながら、業務を考え実行していること。	・関係機関との連携をとり必要な情報を収集すること
・住民の声を聞きたく、業務に反映しようとしていること	
・住民の声を聞く場を持ちたいとしている、やる気を失いかけているところがあるのでもっと住民とかかわる事業の企画などを任せてもらいたい。専門職としての意欲を殺ぐことのないよう専門職の意見をもっと聞いてほしい	
・住民の訴えや相談に真剣に耳を傾けているところ。	
・住民の訴えを大切に、なるべくその訴えに対し対応しようとしているところ	
・住民の相談を聞き、関係機関と調整しながら専門職としての判断を入れつつ助言をしていること	・限られた時間の中での精着を要求される救急対応の困難さ
・住民の相談を聞き、丁寧に対応していること。	・分からない点、疑問に思ふ点は、必ず調べたり確認することを徹底していること。
・住民の中から健康、福祉、生活環境等に関心があり自ら主体的に活動している人	・もしくはしたいと思っている人たちを発掘し、健康づくり運動のリーダーとして集い合いを重ねながら、地域活動を広げていく支援をしていくこと
・各事例困難な場合の各スタッフとの連携をコーディネート	
・住民の方、ひとりひとりを大切に、その立場に立って考えていきたいと思っている。	
・住民の方が見やすく分かりやすいようにと考え工夫して資料づくりをしているところ。	
・住民の方の最も近くで情報を収集し事業に活かそうとしている点	
・住民の方や、福祉・医療等の連携業務に時間を要しているところ。	・機能訓練教室等に参加する住民が、満足して、毎回参加して頂いていけるよう、雰囲気づくりも大切にしていること。
・住民の方一人一人に対する応じ方	
・住民の方々にとって役立っていること	・職域(上記2.を含む)(市役所組織内で)、よく仕事内容を理解してもらえらること。
・住民の方々の健康にとって、専門職としての関わりによる、一定の業務評価を得たいと考えています。(業務の実施、運営、住民の方々の協働など)	
・住民の満足度	・制度の有効な運営ができているかというところ
・住民の目標で物事を考え、住民の声を大切にしていること	
・住民の役に立っている	・部下が働きやすく、意欲的に仕事に取り組めるように配慮(指導)している
・住民の様々な実態を知り、それを業務の改善へつなげていること	
・住民の要望を聞き入れたり、住民の為にできるよう心がけている	・1つの仕事でもボランティアを活用したりすくない人数でも仕事の中を広げるようにつとめている、多数の目があることで事業の向上をはかるようにしている
・住民の要望等、把握し、そのニーズに応じて事業を企画、実施していきたいと考えているところ。	・把握ケースの問題について数こなすことではなく、1つ1つの問題について、大切に考えているところ。
・住民の立場で、考えていくこと	
・住民の立場で、保健事業がなされるよう努力していること。(関わる一人ひとりの声を大切にしていること、行政のおしつけにならないよう努力している)	・ただ業務をこなすのではなく、評価し、次年度にその結果を反映するよう努力していること。
・住民の立場で考え、行政としてどういった支援ができるかを考えている。	・住民に理解してほしいことを、データ等分かってもらえる工夫をしながら伝える
・住民の立場にたった視点一まど口対応等の応待など	・予防的な視点や、常に問題意識を持って、みていること
・住民の立場にたった、事業に取り組む努力をしているところ	・住民の方への対応
・住民の立場にたった、事業の企画、運営を考えていること。	
・住民の立場にたった考える視点。専門職としての活動	
・住民の立場になって考え、住民の声を大切にしていること。	
・住民の立場になり、それを取り巻く関係機関と綿密な調整をして、最良のサービスをしていること。それらを通し、住民の成長を促し、もっと行政サービスの質の向上にむけ働きかけること。	・住民や関係部署、機関から信頼されていること。
・住民の立場に立ったサービスを考えている	・自己啓発のため、休日勉強会に参加したり、専門書を読んだりして努力していること。
・住民の立場に立った細やかなアドバイスができる	・与えられた仕事に関して責任もって取り組むことができる

・住民の立場に立って関わっていただけるように努力していること、など
・住民の話をじっくり聞き、支援している
・住民はもちろん、同僚、関係者等と話し合うことを大切に業務しているところ ・どの仕事も断らず積極的にやっているところ ・研修へ参加し自らの専門性を高めるよう努めているところ
・住民へきめこまかい、適切な対応を心がけている事
・住民への対応、住民からの声、反応。
・住民や外部団体との協議により事業の運営していること
・住民や事例への対応 ・事業運営の工夫
・住民や組織の現状と、目指すところ、行政で進めたい事などをわかりやすく、住民や上司に伝達できるように努めているところ ・住民の思い、感情を把握し、その住民・組織の歴史を含め、受けとめること、統計などの最新情報を伝達し、パートナーシップを保つことを努めている
・住民や相手の意見を大切に聞いている
・住民や他機関からの要請にできるだけ早く適切に対応しようと努力しているところ ・問題解決にあたり自己完結せず、同僚、上司、他職種、他機関と連携しながら対応しているところ
・住民を第1に考えているところ
・住民一人一人の健康意識が少しでも変化したところ。
・住民一人一人の声を大切にしていること
・住民及び機関間の調整を行い、複雑な問題を単純化させ、わかりやすくしている ・普段の事業の中で、関係機関間の連携が図れるよう工夫している
・住民健診のデータ、研修で得た知識を基に事業の企画・運営をしていること。(しかし研修で得た知識を消化しきれずに実行してしまうところもある)
・住民個々に深く関与し、個別に応じた支援をしていること
・住民参加が得られやすいよう、地区の問題や住民が関心を持っている事などに注目して、企画・立案をしていること。・住民の身近な存在として福祉や保健分野の情報提供、その人のニーズにあった支援を行っていること。
・住民主体で仕事をしている所
・住民主体の観点から、物事を考えていること
・住民主体の健康づくりを支援していること
・住民主体の視点で、業務をすすめていること
・住民全体を捉えた集団への関わりだけでなく、個別への関わりも大切にしていること ・事業開催時、参加者数が少ない場合もあるが、小集団への関わりも大切にしていること。
・住民組織と人間関係を大切に育てていきたいと思えます。看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
・住民組織や、事業のスタッフなど、人を動かし、住民サービスを提供する大変さ。・国などからおりてきた事業をマニュアル通りするのではなく、地域の実情に応じて、企画・運営している点。
・住民組織や声を生かせる事業 ・それぞれの専門職、住民をまきこみ、動けること
・住民組織活動の継続
・住民側に向けた活動を常に心がけ、個別対応を大切にしていること ・住民の声を行政側に届けられるよう配慮する
・住民対象としたアンケートの結果を活かし、事業の企画・運営をしているところ
・住民等、相手との信頼関係を築くために、充分時間をかけているところ。時間、数だけで表せない部分
・十分に住民の話を聞き、住民側の視点から
・出会った人を大切にしている点
・出来る限り住民の立場に立ち事業の企画運営を行っていこうと思っていること。
・処遇困難ケース等の他関連機関との連携、コーディネート
・処遇困難なケースに地道に関わっていること。
・処遇困難事例のケースワークができる職員はあまりいないので、超専門的な仕事をしているということ、行政として一般には目の触れない地道な仕事であること ・処遇困難事例に対応しているだけでなく、そこから潜在的な問題を見つけ社会調査をして結果を社会に還元していること
・処遇困難事例を広い関係機関や職種の人とうまく連携していること ・地域の包括的ケアの構築を、行政だけでなく、関係する人々や機関と相談したり、声をきいたりしながら行なっていること
・女性にかこまれながらも、不満を言わずしているところ。
・女性にかこまれながらも、不満を言わずしているところ。
・将来、発生するであろうと思われる健康問題への予防的介入等 ・健康問題を住民が、主体的に考え行動していくための情報提供及び仲間づくり
・将来の介護予防に向けた、事業化などの取り組み。・少ない経験の中で、困難事例や他業務に取り組んでいること。
・将来の目標を決めて、目標に向けて、事業の企画・運営をしていること
・少数派の意見、自由な発想
・少人数のスタッフで、時間外対応を含め、住民によりよい方向を目指して、対応していること。・課題を共有し、一貫性のある対応ができるようスタッフへの配慮をしていること。・関係機関との連携が困難な中、努力していること。
・消極的だと思われるかもしれませんが、住民へのアプローチは、まず人間関係、信頼関係を築いてからとしているので。・フォロー終わった住民への関わりを継続し、人間関係大切にしてい
・障害者への疾病の理解と生活の不便さから、よりよい福祉サービスを提供すべきマネジメントを評価する人がいない
・障害者やその家族等、当事者に直接接して、支援を行なっていく専門職としての技能 ・関係諸機関との調整や連携に努めていること
・常にケースの立場を考えて、接していること
・常にストレスコントロールに心がけながら、きちんと業務をこなしている点 ・特定の事例に“罵入れ”するのではなく、どのケースにも公平、中立、冷静に対応している点 ・一般人ではなく、「専門職」として相談にあたっている点 ・誰とでも仲良く協調性を持って(努力して)業務遂行している点 ・相手を尊重し、接遇マナーをもって対応している点
・常に住民の視点に立って事業を展開しているところ。
・常に住民の立場に立ち、住民が何を感じ何を求めているのか等、住民の生の声に耳を傾けていること。・地区組織と連携を図りながら支援していること。

<p>・常に新しい情報を習得しながらも、それを住民にわかりやすく説明しなるとか健康に関心を持ってもらうよう働きかけていること ・抽象的、主観的な事業の評価ではなく、数値、統計的な部分で事業の評価をしようとしていること(でもなかなかむずかしい…)</p>
<p>・常に新しい知識(看護や医療、地域サービス事業等)を取り入れ、事業に繋ぎ込んでいること。</p>
<p>・常に積極的に熱心に仕事に取り組み、また日々学んだ事を生かしながら業務遂行に全力を尽くしていること。・困難な事例にも自分では分からないなりに先輩等に関して対応、解決を目指し、精一杯取り組んでいること。・病院のスタッフや民生委員、地区住民、他機関のスタッフとの連携、ネットワークを大切にしていること。</p>
<p>・常に専門職として取り組もうとする姿勢 ・見せかけの、形だけを作るような仕事をしないように心がけているところ。</p>
<p>・常に地域住民のことを念頭におき、活動していること</p>
<p>・情報・統計など機械的な処理やパソコンでの業務など若い人(一般職)達の仕事も評価するが、反面、個に関わったり、組織を育成したり、会議を企画したりの保健師業務は形にはっきり表われず、忙しいばかりで毎日何をしているのか、目に見えないことが多い ・健康づくりを住民の視点(共に同じ地域の生活者である)に立ち、その地区の住民にわかり易いことば(これは大切)で、住民が主体的に動けるように関わっているところ、もちろん関連団体の方達にも</p>
<p>・情報をまとめ、関係者をまきこんで、支援の方策を探ること。・ケースとの関係を築いていく技術 ・コーディネート機能</p>
<p>・職位と仕事内容に疑問を感じながらも実施しているが本当に職種として必要なら評価してほしい ・業務の調整というより人間関係の調整や、仕事の進行状況を把握したりして調整する時間にもとられる。目に見えないところで管理の部分も評価してほしい</p>
<p>・職員の教育、(新人・現任)サービスレベルの向上 ・常に職員の声を聞き、働きやすい職場づくり、チームワークづくり ・他の事業所や利用者から信頼されていること</p>
<p>・職員数の減の中、経験年数の少ないスタッフと共に事業を無事行なっていること ・市民サービス充実に向け、住民の要望等から得た情報を事業の企画運営をしている ・市民や各種団体等の思いを傾聴し市民サービスに努めている</p>
<p>・色々な沢山との人と関わりがあるため、どんなところが問題となるのか(集団としての)把握することができる</p>
<p>・色々評価してもらえていると思う ・あえて言えば日々の業務に流されているので最終のはっきりした仕事をしたいと思うことがある</p>
<p>・心の健康づくりの視点に立つて保健師として仕事をしている事。</p>
<p>・新しい事業の企画・運営(20年後の社会を見通した健康づくりの事業等)</p>
<p>・新しい事業を立ち上げる際に、他関係機関との連携を大切にしている点 ・常に新しい情報をつかみ、市民に提供しようとする点</p>
<p>・新しい情報、専門的な知識に関する情報を集め、仲間に伝えようとしているところ ・仕事の仲間への情報伝達がスムーズに行われるよう努力しているところ ・仕事の役割の調整をバランス良く行おうとしているところ</p>
<p>・新しい知識技術の習得を心掛けて、住民にあった相談や指導をしようとしていること</p>
<p>・新たな受け皿づくりをしている事。</p>
<p>・新たな情報を早くキャッチし、日々の仕事に生かそうと常に心がけていること ・早め早めに予定をたて計画的に仕事をすすめていること ・後輩の育成について心がけていること</p>
<p>・新規事業に取りくむのではないが、今実施していることの内容充実や変更などの工夫を試みていること ・いろんな人が関わる事業が増えているので、事前の受けあわせや準備に気をつけている</p>
<p>・新規事業の立ち上げに関し、対象となる相手との関係づくりのため互いのメリットを意識し、事業の内容に反映させているところ</p>
<p>・新規事業を立ち上げたこと又、それを軌道に乗せたことetc</p>
<p>・新人ということもあり、失敗もありますが、頑張ろうという姿勢 ・上手に事業を回せない分、参加者との人間関係を大切にしている ・自分だけの係だけでなく他の課や係の意見を聞き、参考にしているところ。</p>
<p>・真面目に、ひとつひとつ取り組んでいるところ。</p>
<p>・真面目に勤務している点 ・住民の方に合ったサービスを心がけている点</p>
<p>・親身になって住民の話を耳をかたむけているところ。・健診後の処理業務にけっこう時間をかけているところ。</p>
<p>・進捗事務等事務量が多く個別ケースの対応になかなか時間をかけることがむずかしい問題がおこっている事例に対応するのに連絡調整などかなり時間とられるので訪問件数の減少だけにとられてほしくない</p>
<p>・人、グループを大切に力のかしきてもらいながら仕事をさせてもらうこと。・知らないことは知ってほしい人に関して、総合的に考えること</p>
<p>・人と人との信頼関係を重視しようとしていること。</p>
<p>・人と接する仕事の中で、数値ではあらわせない市民の声を大切にしていること</p>
<p>・人の一生にわたって(継続したライフサイクルにおいて)健康を客観的、総合的立場からとらえ仕事をしていること</p>
<p>・人を大切に、よく話を聞き支えようとしているところ。・仕事に優先順位をつけ、なるべく時間内に片付けるところ。</p>
<p>・人員配置が不十分であるのに、なんとか、仕事をこなしている。また、その中でも自分で学習を深めたり、知識を習得するように心がけ、優先順位を考えて、とり組んでいるところ。・住民の声、気持ちを大切に、仕事にとり組んでいるところ</p>
<p>・数では割り切れないことの多い保健師業務、地道な地域活動</p>
<p>・数に表われない事、例えば困難なケースへの働きかけや関係機関との連携など</p>
<p>・数も大事かもしれませんが、それよりも内容も評価してほしい。・(例にも書いてありますが)住民と関わることが多いので、そこからの声を大切にしていること。・連携しやすい立場にいるところ</p>
<p>・数や量で仕事を評価するだけでなく、住民を直接相手にしているのだから、より、質が大切で、時間の割られる業務が多いという事。・以前のように直接ケースと関わるだけでなく他の関係機関との連携が必要で、この調整にさかれる労力と時間。</p>
<p>・数字だけでは、あらわせない、住民との関わりを大切にしながらの忙しい日々</p>
<p>・数字だけでは評価できないところ ・国が示す対象者と実際に指導が必要な人との違い ・事務職には理解しにくい業務</p>
<p>・数字だけの評価をしないでほしい。(時間、件数だけでは意味がない)</p>
<p>・数字で評価できない部分の評価をしてほしい。(全般的に)</p>
<p>・数字で評価できることしか評価されないが、疾病予防をみても効果は長いスパンでみないとわからない。もう少し、専門職としての仕事を理解した上で評価してほしい。</p>
<p>・数字には現れにくい人が少数ではあっても、町の教室等に参加して、住民の方が普段の生活を見直すきっかけとなったり実践につながったりしたという声を聞くこともある。逆にこうして欲しいという声を聞くこともある。毎回教室等終了後にスタッフで反省をして次回の内容等見直しをしていること</p>
<p>・数字には出てこない保健活動:実際評価を受けるのは数字で現わされたものであり、準備から終了etcまでの活動を評価してほしい。</p>
<p>・数字には表われないが、事業を実施することによってえられる住民の反応や思い。</p>
<p>・数字や経済効果ははっきりすぐにはでる仕事ではない所</p>
<p>・数値では表わしにくい訪問やケースのかかわり ・事業を実施するにあたり準備、実施、まとめなど調整も含め目に見えない事が多い</p>
<p>・数値としてあがらない部分の評価がでにくい。特に個別のケースのかかわり方などでかなり多機関をまきこんだりし、コーディネートすることでケースに改善がかなりみられたりするのでその部分を是非評価して欲しい</p>
<p>・数値として表現が困難な質的な評価(参加者が明るくなった、表情が豊かになったetc)も大切にしたい ・着目な成果が形として見えない活動(高令者の訪問活動など)</p>
<p>・数値として評価することが難しい住民(対象者)との関わり、時間外での連携など見えにくい部分にもがんばっている点</p>

・数値として目に見えなくても、各機関と詳細な打ち合わせをし、各種事業にかかっていること。(横のつながり連携のもとに事業を実施している) ・生活の場としての地域、そこに生きる住民、という視点を大事にしていること。
・数値目標を最近求められることが多いが、数値にあらわされる部分はごく一部であることを理解して欲しい ・住民の意見を取り入れ企画していることを理解して欲しい
・数的データで判断できない関係調整の機能
・数的評価出来ない、目に見えない(表にはっきりわかりにくい)部分も沢山やっている所 ・自身の業務だけでなく、人員不足の為にやっている仕事
・数年後(5年)の住民自身の健康度がどう変わっているか。そのために健康意識を高められるような結果返しをしていること
・成人部門のリーダーとしての役割があるが、他の2人の能力を引き出せる様にアドバイスしているところ。(チームワーク作り) ・地域住民のもっている能力を引き出せる工夫をした教室運営等
・正しい知識を住民に伝えられる様自己学習を重ねていること
・生活に密着しているが、専門的な支援者であること。・住民の声をきき、ニーズを把握できること
・生活の視点から健康を考えられる ・市民と話ができる
・生活習慣病の予防活動に必要な保健師、栄養士等のマンパワーの充実・整備の必要性について、理解しているというが、温度差がある。・委託する業務と、職員でやる業務の優先度やその内容について、評価得にくい。(保健計画等を業者にまかなげることが簡単にできるという考え方は、計画書作成に力点がかれ、計画・事業の推進のイメージ化が薄くなっている)
・精神科治療のスタッフの1員として他職種スタッフと協力し、困難事例の治療に従事し、それを調査研究結果をまとめているところ ・治療機関の連携を密にするため研修会や研究会を企画運営しているところ
・精神障害者の訪問で危険をともないかねないところ。
・精神障害者社会復帰事業(デイケア)を担当している。利用者や接する中で関係を作り、問題を整理し、そこに働きかけをしていること
・精度管理を中心とした個へのかかわりを大切にしているフォローの為の仕事
・誠意を持ってまた、担当業務には責任をもってこなしているところ ・住民の声を施策に反映できるよう努力しているところ
・昔から続いている事業に対して、事業の実施理由、根拠を考えるようにしていること。
・責任感をもって、業務にとり組んでいるところ
・専門技術を駆使しながら、住民に丁寧に接していること ・住民のニーズにあったサービスを提供していること。
・専門職からの押しつけでなく、住民の個々の気持を大切にしているところ
・専門職だからこそ、住民と一番近い距離で住民のニーズ理解し、住民にあった活動ができていること ・生活の背景を見ながら聞かれるのは保健師である専門職であること
・専門職だからこそ出来る支援や視点を生かした仕事の質的な評価
・専門職だから特別な目で見ないでほしい。正当な評価を(事務職が事務仕事に秀でていいるとは限らない)
・専門職であることをいかした仕事の内容
・専門職として、いろいろな事業に関わっていること。
・専門職として、医療機関に適切な情報提供等を行うことにより、医療者側も患者側も質の高い医療を行ったり、受けたりすることができることを評価してほしい ・医療機関側の意見、患者側の意見を十分きくこと
・専門職として、看護、医療、福祉の知識をもって相談し、ケアマネジメントを実施していること
・専門職として、事業の企画にあたり、かつ、実際に市民サービスを市民の立場と行政の立場、両方からの調査をとりながら、実施していること ・正確なデータ管理に努めていること
・専門職として、住民から得た問題や状況を健康づくりの為の政策として企画運営していく事
・専門職として、住民に関わり、住民の声を大切に、事業を企画運営しているところ ・上司によっては、出先機関であるため、保健師の活動を充分に理解してもらえないところがあり、理解してもらえよう、事業等をまとめて、文書化し、説明するが、そのエネルギーは、大変である(時間におわれているせいか、そのための時間をさくのが、とてもつらい)
・専門職として、住民の現状を把握し、声をまとめ、必要な施策を実施していくために、現在の人材、人数では難しいということ。
・専門職として、住民の声を大切に、事業を運営していること
・専門職として、住民の立場に立ちながら、個を大切にしていること。・他職種、機関との連携は常に忘れないよう心掛けている(できていない所ではありませんが)
・専門職として、障害をもつ人達の相談にのり他機関と連携をとりながら、必要なサービスにつないでいくことや新たにサービスを作っていること。
・専門職として、新しい医療情報等を入手していること。
・専門職として、他の機関、職種と連携しながら、住民ニーズに沿った事業をしていること。
・専門職として、地域住民に健康に関する情報の提供を定期的に行っているところ。・乳幼児健康診査や予防接種などを通じて、地域の母子と良い関係を築いているところ。地域で、たった1人の保健師なので、全ての業務において、1人で取り組み、教室の運営企画や報告書、文書の処理など全部を1人でこなしていること。
・専門職として、地区活動をしているところ
・専門職として、地区診断をし、この地区にとって何が重要か、優先すべき事業は何か、健康づくりの政策を立案し、実行、評価すること。(家庭訪問をすれば(していれば)よいという声が多いので訪問指導、相談などのサービス提供業務は外部委託できればよいと考えます。)
・専門職として、保健事業に従事しながら、予算も含めた事務や係内の他職員への指導、管理等 係内全体を掌握し、仕事をすすめているところ(自分では努力していると思っているので…)
・専門職としてP-O-C-Aサイクルの繰り返しに基づき培った専門的判断力 ・データ収集及び作成とデータに基づく施策の提起。(地域特性に基づく施策形成力) ・日常的に国の方針等を把握するとともに、最前線で市民の多様な相談等に対応している担当者の声を聴いて市としての今後の取組課題整理と方向性をとりまとめ、審議会等の施策検討の場に提起してきている ・保健・医療・福祉関係者との円滑な調整。
・専門職としてかわかることで問題が解決できたり、方向づけができ、住民の役に立っていると思える ・統計処理により地域の分析をし事業に反映しようとしているが… ・住民の声を聞き、事業の企画・運営している
・専門職としての、予防的視点にたった事業展開 ・各職種の調整的な役割
・専門職としてのみたてや判断
・専門職としての活動を他分野の職員に理解してもらうことの必要性 ・保健師自身が行政の一員としての自覚をもってもらうことの教育の必要性
・専門職としての観点と、行政職としての役割を合わせ、事業展開をしていること。・関係機関との連携を大切にしていること。
・専門職としての関わり ・住民との関わり、地区組織活動
・専門職としての関わり、視点を個別的支援や事業に生かしていること。
・専門職としての関わりと、住民参加を重視した住民との関わり、地域に根ざした活動